Genie
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

S®-60 J

S60JH-101 から

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
First Edition
Second Printing
Part No. 1283764JAGT

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義..... 5
一般的な安全 8
作業員の安全 14
作業場の安全 15
説明..... 25
操作パネル 26
点検..... 34
操作手順 49
輸送および持ち上げの手順..... 60
メンテナンス 63
仕様..... 67

Copyright © 2019 Terex Corporation

初版: 第 2 刷、1 月 2023 年

Genie および「S」は米国およびその他の国における Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。

本機械は
ANSI/SAIA A92.20
CAN/CSA B354.6 に適合しています。

はじめに

この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

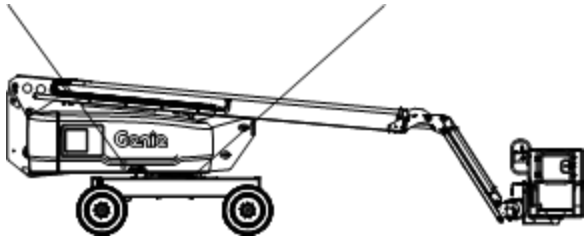
本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。

シリアルラベル（カバーの下）

シリアル番号はシャーシに記載 .



用途および訓練ガイド

本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

- ☑ 各作業員は可動式上昇作業台（MEWP）を操作するためのトレーニングを受けなければなりません。
- ☑ MEWP の訓練は認定され、技能を持ち、トレーニングされた担当者に実施されなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は作業台のマニュアル保管場所にあります。
- ☑ 具体的な製品の適用性に関しては、次のページ記載の**「製造者への連絡」**を参照してください。

はじめに

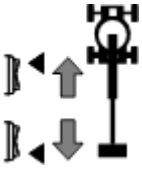
作業台操作の記号の説明とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


作業台の高さ


作業台回転


ジブブーム上昇/下降


ブーム上昇/下降

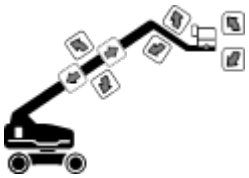

ブーム延長/収縮


ターンテーブル回転


走行前進/逆進


操舵右/左

地上操作の記号の説明とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


作業台の高さ、ジブブーム上昇/下降、ブーム延長/収縮、およびブーム上昇/下降


ターンテーブル回転および作業台回転

連続機能と動作は以下のとおりです。

- 走行および操舵。

インターロック機能は以下のとおりです。

- 上昇時走行速度。
- 非水平状態での上昇時の走行。
- 非操舵ホイールを越えてブームが回転している場合の走行機能。
- 全ての作業台および地上操作。

使用の制限は以下の場合です。

- 本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。
- 機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

安定性増強とは以下を示します。

- フォームタイヤ

制限された動作包絡面は以下のとおりです。

- 制限なし。

はじめに

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

ご利用の機械に関する公開されている通知は www.genielift.com にアクセスしてご確認ください。

製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

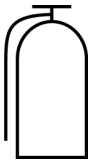
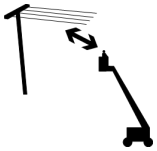
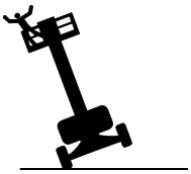
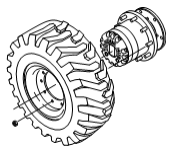
▲ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

▲ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

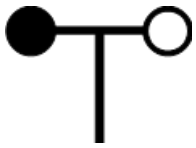
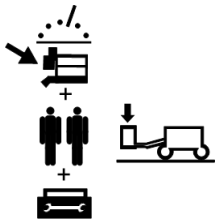
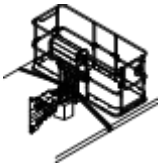
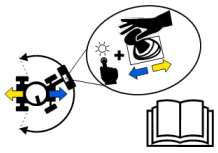
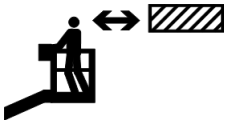
▲ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

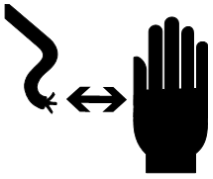
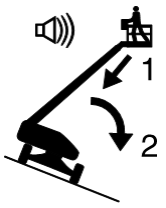
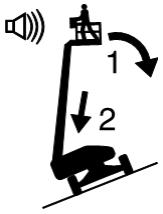
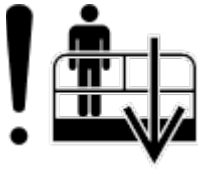
シンボルと危険を表すイラストの定義

 火災の危険	 爆発の危険	 爆発の危険	 グロープラグを搭載した機械に、エーテルなどの高エネルギーな始動補助剤を使用しないでください。	 禁煙。 火気厳禁。 エンジン停止。
 消火器	 禁煙。	 爆発の危険	 感電の危険	 必要な間隔を維持してください
 転倒の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 タイヤ仕様

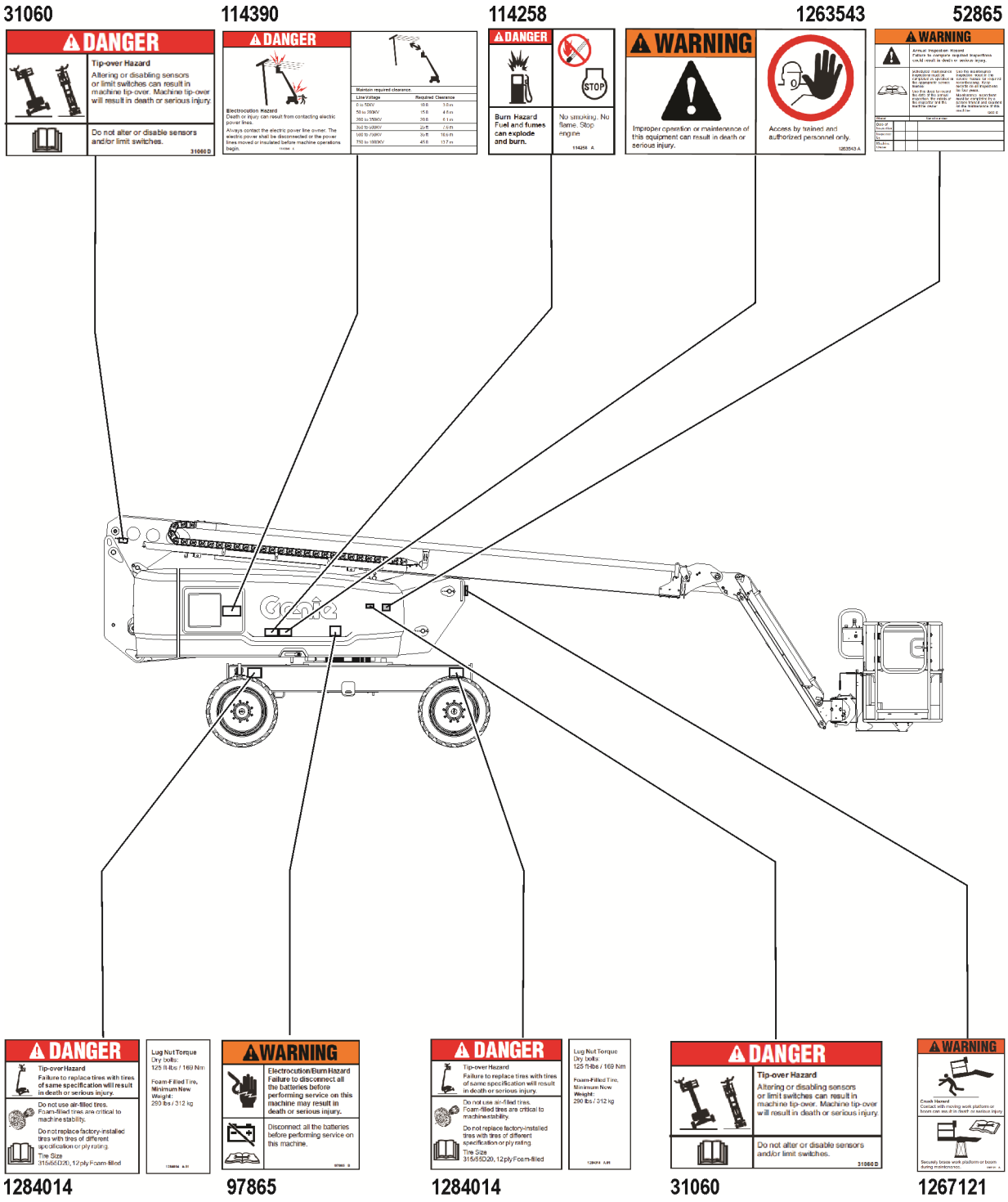
シンボルと危険を表すイラストの定義

 車輪荷重	 風速	 最大積載荷重量	 外圧	 最大積載荷重量には溶接機の重量が含まれます。
 荷締めの手順	 吊り上げ点	 作業台の荷締め手順	 吊り上げ&荷締め手順	 安全帯固定場所
 腐食性液体	 色分けされた方向矢印	 暴走の危険	 衝突の危険	 頭上の障害物

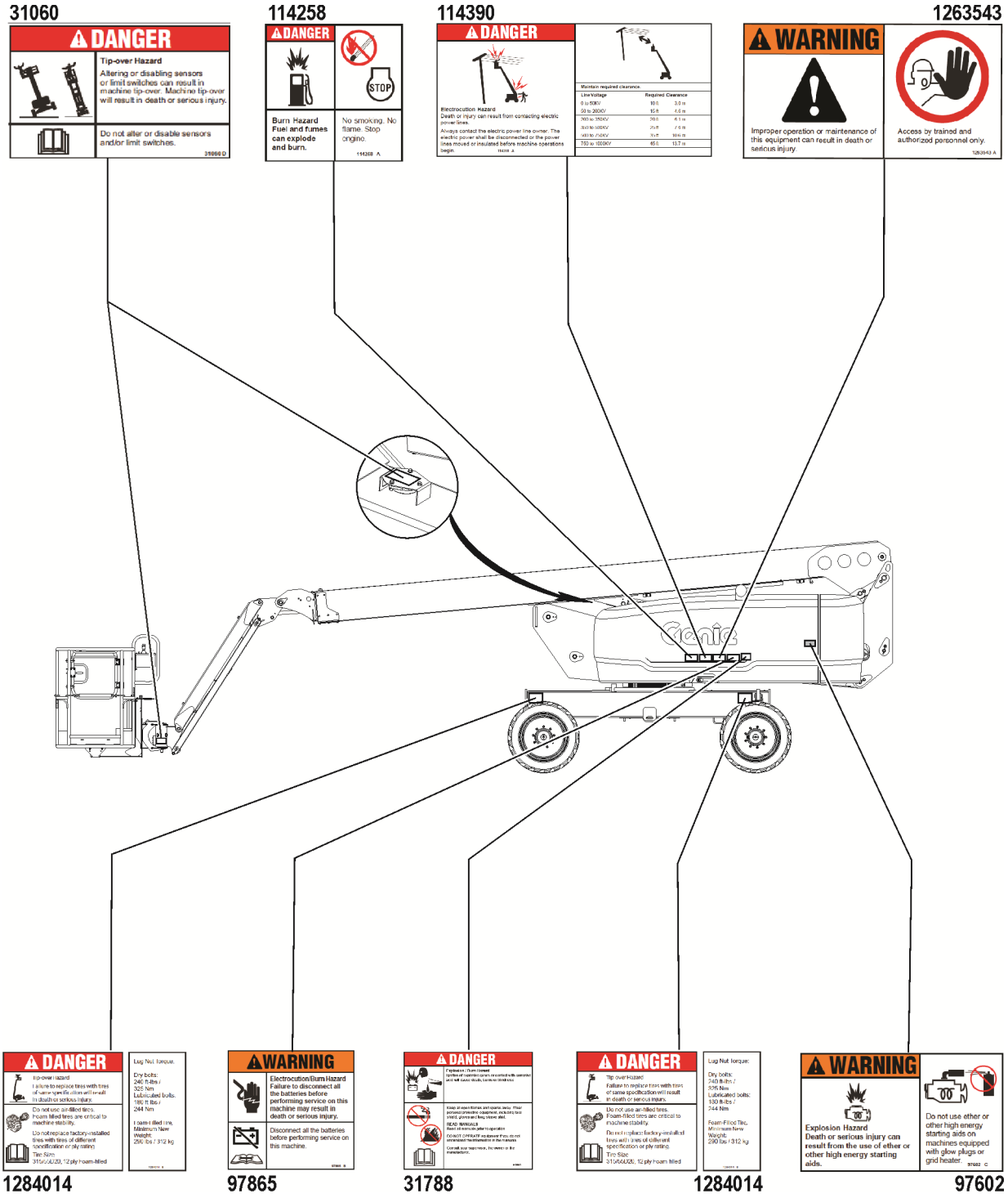
シンボルと危険を表すイラストの定義

 感電の危険	 接触を避ける	 バッテリーの切り離し	 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力
上昇中に傾斜アラームが鳴った場合の復元手順  下り傾斜にある作業台: 1 ブームを収縮します。 2 ブームを下ろします。	 上り傾斜にある作業台: 1 ブームを下ろします。 2 ブームを収縮します。	 操作説明書を読んでください	 トレーニングを受け認定された担当者のみによるアクセス	 サービスマニュアルを読んでください
 補助下降	 挟まる危険	 保守作業中は作業台またはブームを支える		

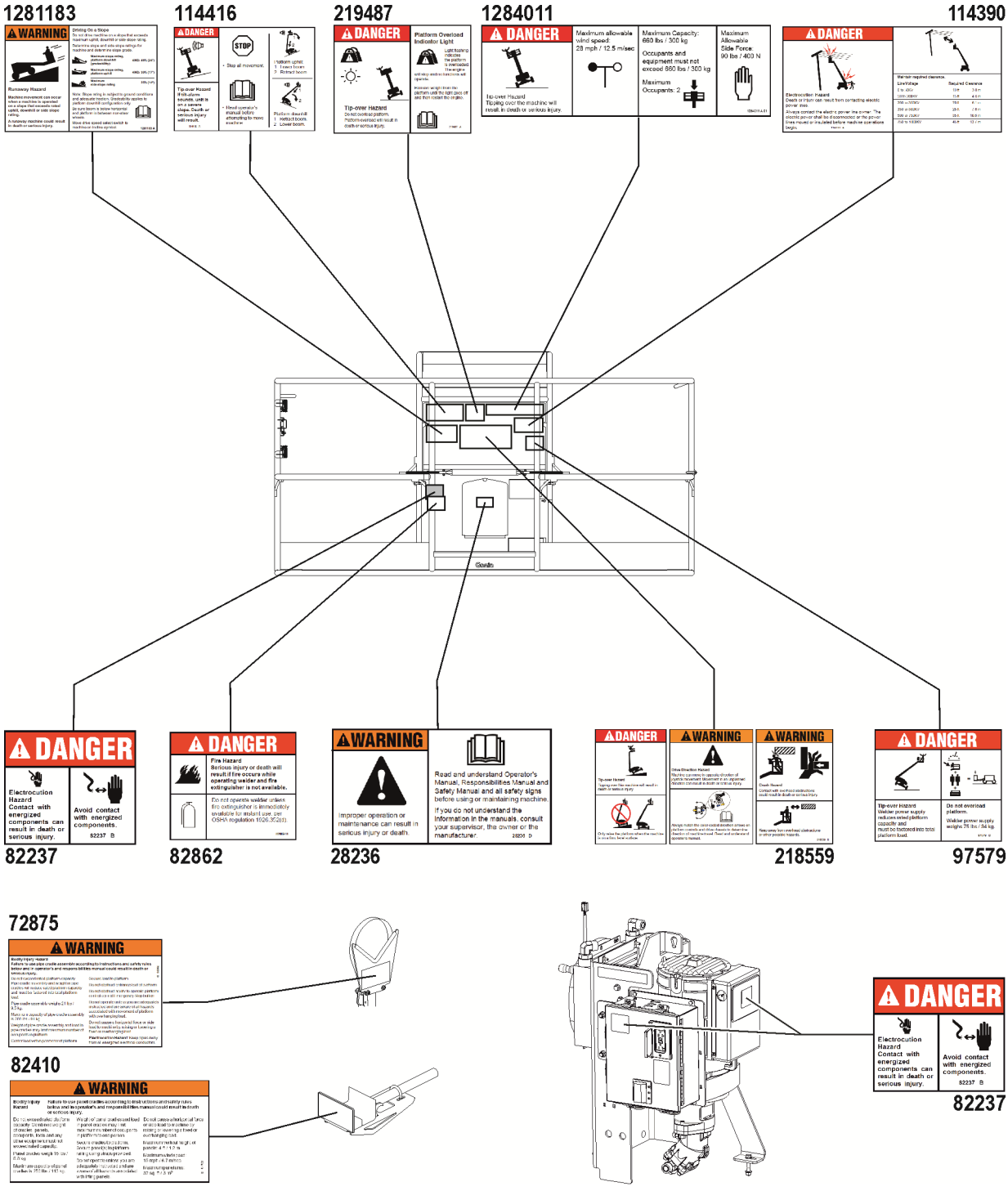
一般的な安全


31060
DANGER
Tip-over Hazard
Altering or disabling sensors or limit switches can result in machine tip-over. Machine tip-over will result in death or serious injury.
Do not alter or disable sensors and/or limit switches.
114390
DANGER
Electrocution Hazard
Death or injury can result from contacting electric power lines.
Always contact the electric power line owner. The electric power shall be disconnected or the power lines moved or insulated before machine operations begin.
114258
DANGER
Burn Hazard
Fuel and fumes can explode and burn.
STOP
No smoking. No flame. Stop engine.
1263543
WARNING
Improper operation or maintenance of this equipment can result in death or serious injury.
Access by trained and authorized personnel only.
52865
WARNING
1284014
DANGER
Tip-over Hazard
Failure to replace tires with tires of same specification will result in death or serious injury.
Do not use air-filled tires. Foam-filled tires are critical to machine stability.
Do not replace factory-installed tires with tires of different specification or ply rating.
Tire Size
315/55D20, 12ply Foam-filled
Lug Nut Torque
Dry bolts:
125 ft-lbs / 169 Nm
Foam-Filled Tire, Minimum New Weight:
260 lbs / 312 kg
97865
WARNING
Electrocution/Burn Hazard
Failure to disconnect all the batteries before performing service on this machine may result in death or serious injury.
Disconnect all the batteries before performing service on this machine.
1284014
DANGER
Tip-over Hazard
Failure to replace tires with tires of same specification will result in death or serious injury.
Do not use air-filled tires. Foam-filled tires are critical to machine stability.
Do not replace factory-installed tires with tires of different specification or ply rating.
Tire Size
315/55D20, 12ply Foam-filled
Lug Nut Torque
Dry bolts:
125 ft-lbs / 169 Nm
Foam-Filled Tire, Minimum New Weight:
260 lbs / 312 kg
31060
DANGER
Tip-over Hazard
Altering or disabling sensors or limit switches can result in machine tip-over. Machine tip-over will result in death or serious injury.
Do not alter or disable sensors and/or limit switches.
1267121
WARNING
Crush Hazard
Contact with moving work platform or boom can result in death or serious injury.
Securely brace work platform or boom during maintenance.

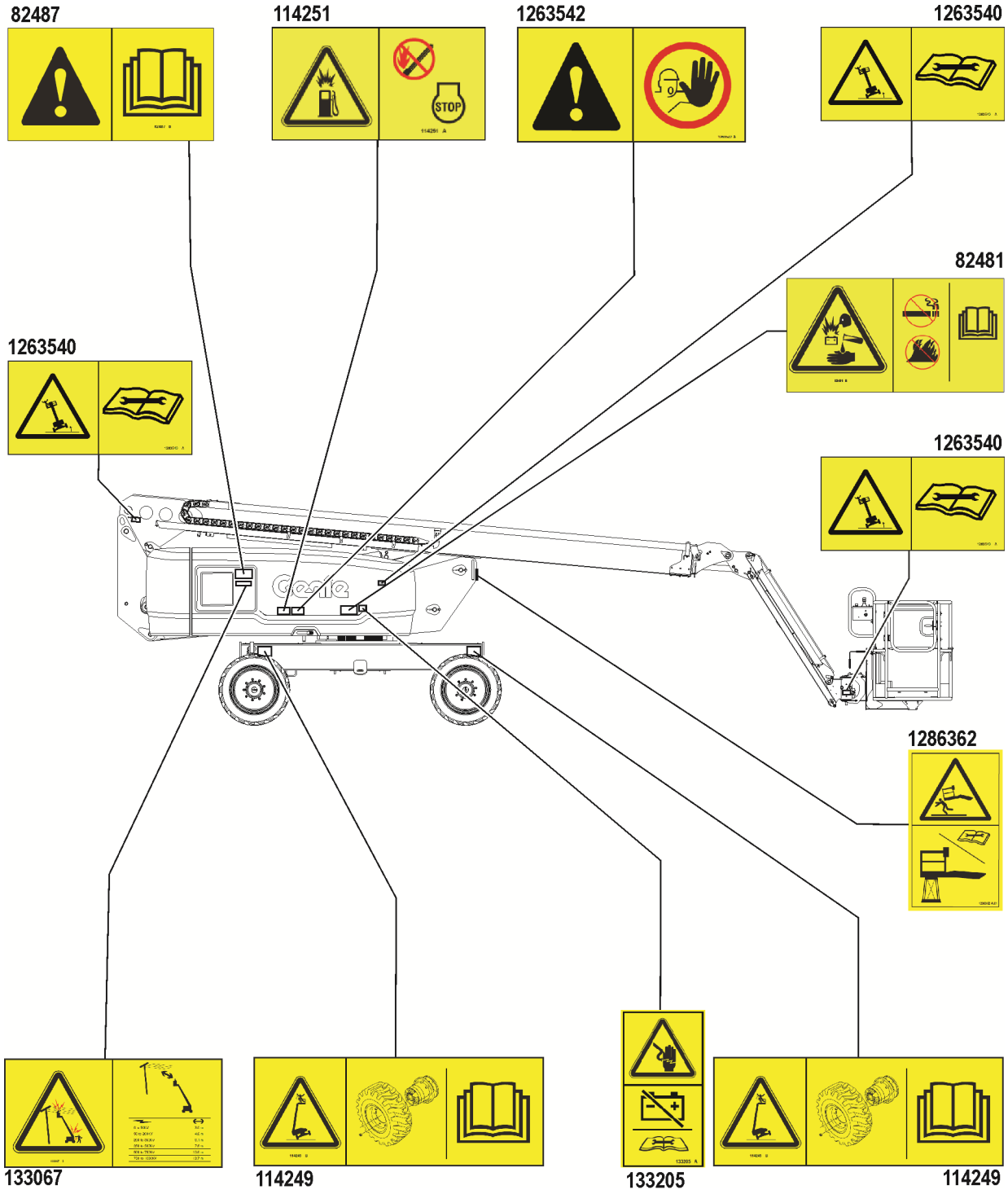
一般的な安全


31060
DANGER
Tip-over Hazard
Altering or disabling sensors or limit switches can result in machine tip-over. Machine tip-over will result in death or serious injury.
Do not alter or disable sensors and/or limit switches.
114258
DANGER
Burn Hazard
Fuel and fumes can explode and burn.
STOP
No smoking. No flame. Stop engine.
114390
DANGER
Electrocution Hazard
Death or injury can result from contacting electric power lines.
Always contact the electric power line owner. The electric power shall be disconnected or the power lines moved or insulated before machine operations begin.
Maintain required clearance.
Line Voltage
Required Clearance
0 to 50KV
50 to 200KV
200 to 350KV
350 to 500KV
500 to 750KV
750 to 1000KV
1263543
WARNING
Improper operation or maintenance of this equipment can result in death or serious injury.
Access by trained and authorized personnel only.
DANGER
Tip-over Hazard
Failure to replace tires with tires of same specification will result in death or serious injury.
Do not use air-filled tires. Foam filled tires are critical to machine stability.
Do not replace factory-installed tires with tires of different specification or ply rating.
Lug Nut Torque:
Dry bolts:
240 ft-lbs / 325 Nm
Lubricated bolts:
180 ft lbs / 244 Nm
Foam-Filled Tire, Minimum New Weight:
290 lbs / 312 kg
Tire Size:
1284014
WARNING
Electrocution/Burn Hazard
Failure to disconnect all the batteries before performing service on this machine may result in death or serious injury.
Disconnect all the batteries before performing service on this machine.
97865
DANGER
31788
DANGER
Tip-over Hazard
Failure to replace tires with tires of same specification will result in death or serious injury.
Do not use air-filled tires. Foam-filled tires are critical to machine stability.
Do not replace factory-installed tires with tires of different specification or ply rating.
Lug Nut Torque:
Dry bolts:
240 ft-lbs / 325 Nm
Lubricated bolts:
180 ft-lbs / 244 Nm
Foam-Filled Tire, Minimum New Weight:
290 lbs / 312 kg
Tire Size:
1284014
WARNING
Explosion Hazard
Death or serious injury can result from the use of ether or other high energy starting aids.
Do not use ether or other high energy starting aids on machines equipped with glow plugs or grid heater.
97602

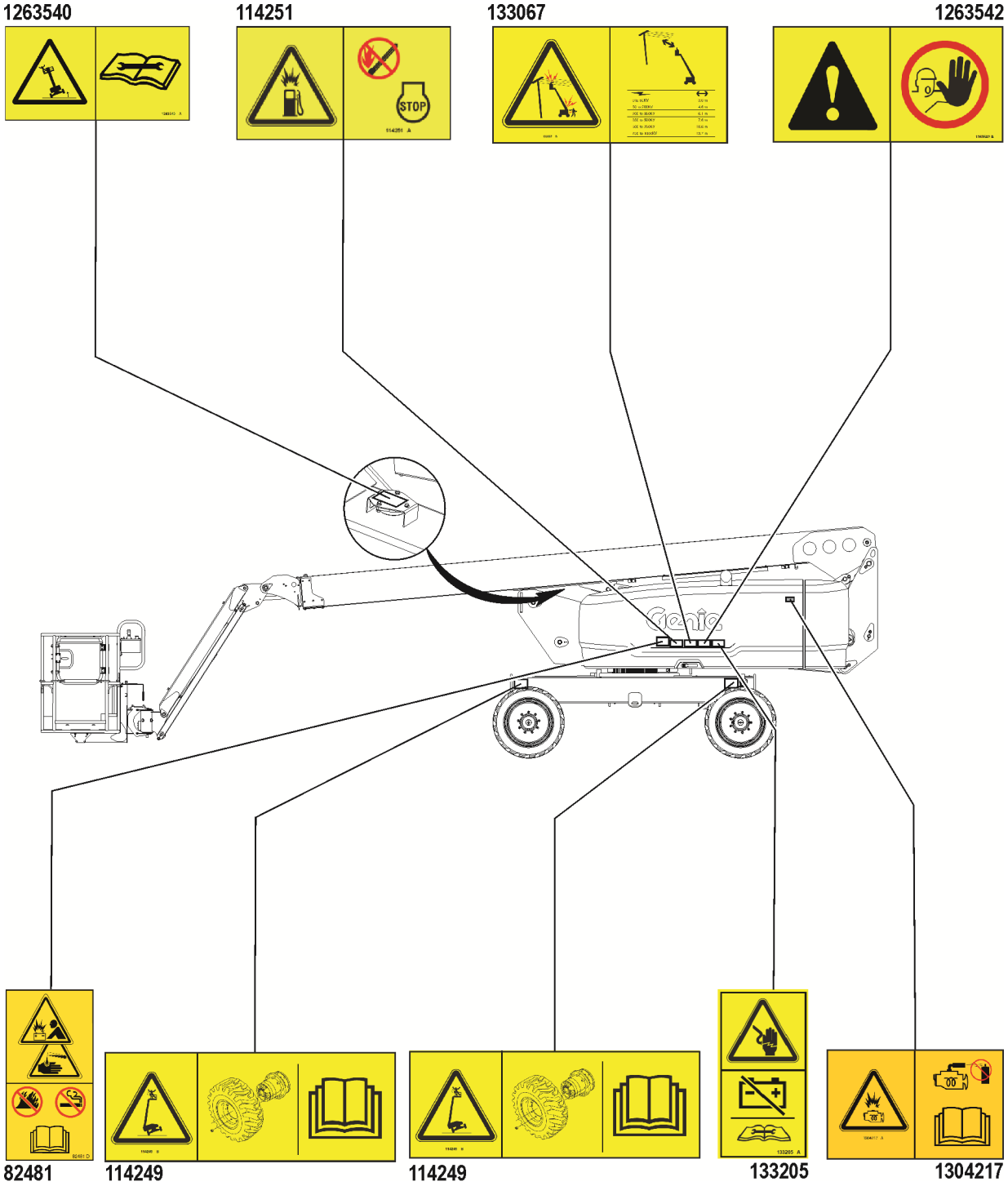
一般的な安全


1281183
114416
219487
1284011
114390
82237
82862
28236
218559
97579
72875
82410

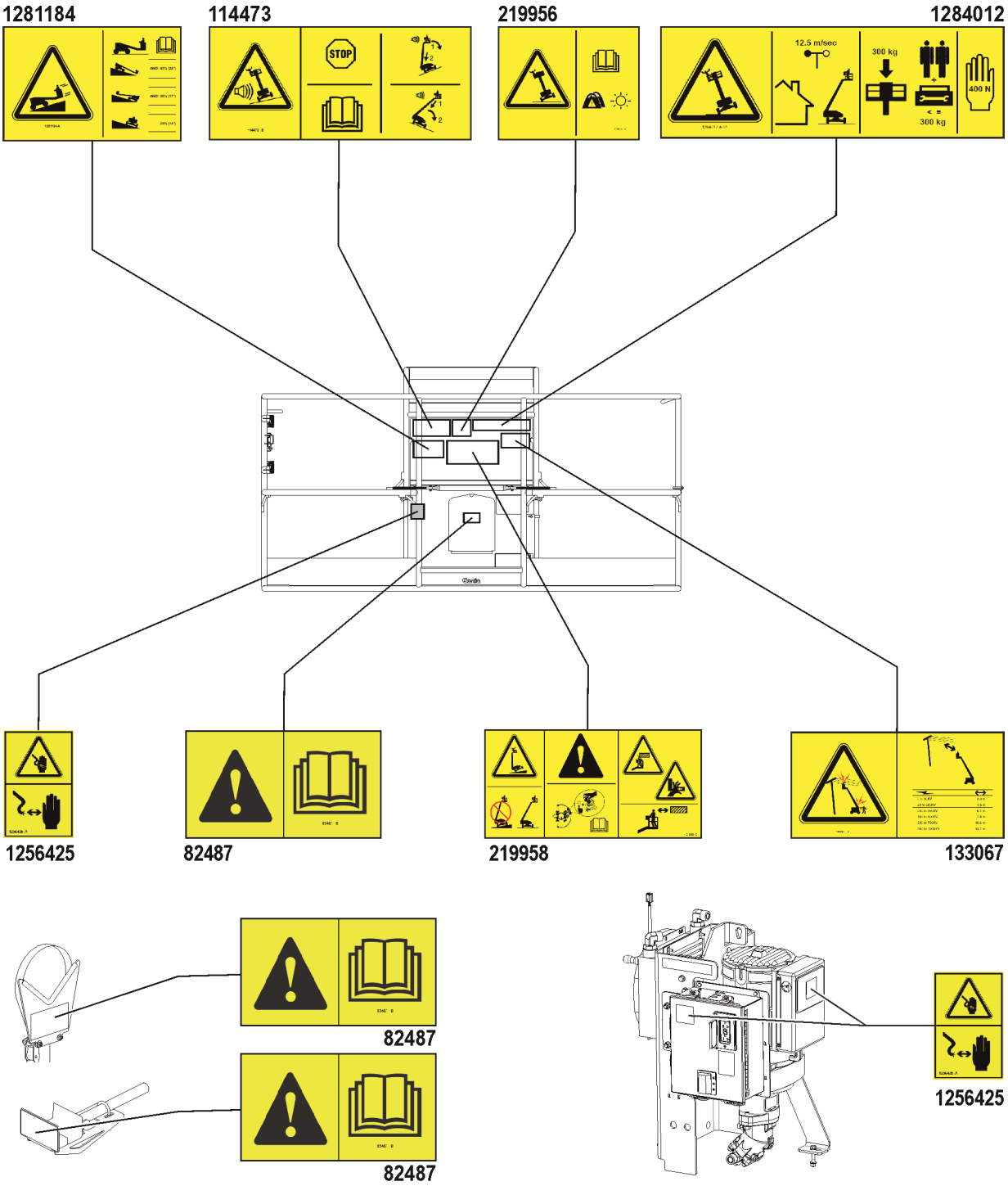
一般的な安全


82487
114251
STOP
1263542
1263540
82481
1263540
1263540
1286362
133067
114249
133205
114249

一般的な安全


1263540
114251
133067
1263542
82481
114249
114249
133205
1304217

一般的な安全


1281184
114473
STOP
219956
1284012
12.5 m/sec
300 kg
300 kg
400 N
1256425
82487
219958
133067
82487
82487
1256425

作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作する際、落下防止装置 (PFPE) の着用が必要です。

作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

安全装備の使用に関して、作業員は従業員規則、作業現場の規則、および法規に従う必要があります。

すべての PFPE は、適用した法規に準拠したものでなければならず、PFPE 取扱説明書の指示に従って検査して使用してください。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

線間電圧		必要な距離
0 ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50 ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200 ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350 ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500 ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750 ～ 1000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	660 lbs	300 kg
最大作業員数		2

定格作業台最大積載荷重量には、パイプクレードル、溶接機などのオプションや付属品の重量が含まれるため、作業台積載荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。オプションおよび付属品に付いているステッカーを参照してください。

付属品を使用する場合には、付属品に付いているステッカー、指示およびマニュアルをよく読んで理解し、従ってください。

作業場の安全



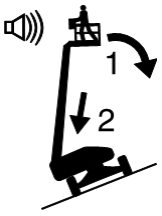
機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは延長しないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

作業台が上昇しているときに傾斜アラームが鳴る場合には、細心の注意を払ってください。機械の傾斜表示ランプが点灯すると、一方向または両方向への走行機能は作動しません。斜面上におけるブームの状態が、以下のどれに当てはまるかを判断してください。安定した固い水平な地面に移動する前に、手順に従ってブームを下げてください。作業台の下降中は、ブームを旋回しないでください。

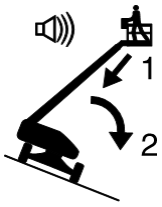
復元モードは、トレーニングを受け認定された担当者のみによって実施されなければなりません。



作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを下ろします。

2 ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを収縮します。

2 ブームを下ろします。



風速が 28 mph/秒速 12.5 m を超える場合はブームを上げないでください。28 mph/秒速 12.5 m 以上の風速のもとでブームを上げている場合は、ブームを下げ、機械の操作を中止してください。

強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。

作業場の安全



平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

平らでない不安定な地面、またはその他の危険がある状況では、ブームを上昇したあるいは延長した状態で機械を走行しないでください。

機械をクレーンとして使用しないでください。

機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大許容外圧力 –
90 lbs/400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

工場出荷時に取り付けられているタイヤを、異なる仕様またはプライ数評価値のものと交換しないでください。

空気タイヤを使用しないでください。これらの機械はフォームタイヤを装備しています。ホイールの重量は、安定性に大きな影響を及ぼします。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

製造元の書面による事前の許可なしに、可動式上昇作業台を変更、または改造しないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、またはガードレールに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

作業場の安全



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、ラグナットが締められていることを確認してください。

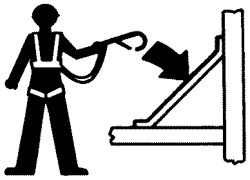
⚠ 傾斜面での操作の危険

機械の最大上り、下りおよび横勾配の定格値を超える斜面では、機械を走行しないでください。定格勾配は、機械が収納状態の場合にのみ適用されます。

最大定格勾配、収納状態、4WD	
作業台が下り傾斜にある場合	45% (24°)
作業台が上がり傾斜にある場合	30% (17°)
横勾配	25% (14°)

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

⚠ 落下の危険



作業員は、法規に従って安全ベルトまたはハーネスを着用する必要があります。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

作業場の安全



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

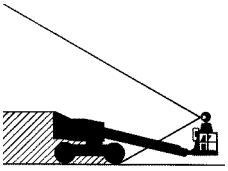
作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

機械が作業台を収納した状態で、作業台が地上にある場合以外は、作業台に出入りしないでください。

機械が高い位置の時に作業員が機械から出ようとする特定の場合の危険性については、設計の時に想定されています。詳細は Genie にお問い合わせください（「製造者への連絡」を参照）。

⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置および後方車体の揺れに注意してください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。

作業場の安全

走行や操舵機能を使用する際は、作業台操作および走行シャーシの色分けされた方向矢印をよく見てください。



ブームを下げる場合は、下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

クレーンの軌道内においてブームを操作する場合は、必ずクレーンの制御をロックし、衝突を防ぐための予防措置を講じてください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

⚠ 人体への傷害の危険

一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で機械を操作してください。

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

⚠ 爆発と火災の危険

LP ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでぐださい。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテル製スプレーをかけないでください。

作業場の安全

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

⚠ 部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動する場合は、12V より高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

非常に磁気の高い場所が近くに存在するような現場では、機械を操作しないでください。

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。





⚠ 感電の危険

電気端子に触れないでください。

作業場の安全

⚠ 接触アラーム安全規則

接触アラームに付属しているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。定格作業台最大積載荷重量には接触アラームアッセンブリの重量が含まれるため、合計作業台荷重量からこれらの重量を差し引く必要があります。

接触アラームアッセンブリの重量は 10 lbs/4.5 kg です。

接触アラームがしっかりと設置されていることを確認してください。

⚠ パイプクレードルの安全

パイプクレードルに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの重量は定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

パイプクレードルのアッセンブリの重量は 21 lbs/9.5 kg です。

パイプクレードルのアッセンブリの最大積載重量は 200 lbs/91 kg です。

パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

積荷を作業台の外周の中心に置いてください。

積荷を作業台に固定してください。

作業台への出入りが妨げられないようにしてください。

作業台操作や赤色の緊急停止ボタンの操作が妨げられないようにしてください。

荷がぶら下がっている状態の作業台の移動に関する危険について、すべて適切に指示され認識している場合以外は、操作を行わないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

感電の危険:パイプを通電状態の導体にいっさい近づけないでください。

作業場の安全

⚠ パネルクレードルの安全

パネルクレードルに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。クレードル、パネル、作業員、工具、その他の機材を合わせた重量が最大定格重量を超えてはいけません。

パネルクレードルのアッセンブリの重量は 30 lbs/13.6 kg です。

パネルクレードルの最大積載重量は 250 lbs/113 kg です。

パネルクレードルとパネルクレードル内の積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

クレードルを作業台に固定してください。付属のストラップでパネルを作業台の手摺りに固定します。

パネルを持ち上げる危険について、すべて適切に指示され、認識している場合以外は、操作を行わないでください。

機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。

パネルの最大垂直高さ:4 ft/1.2 m。

最大風速:15 mph/6.7 m/秒。

最大パネル面積:32 sq ft/3 m^2。

⚠ 溶接機の安全

溶接電源ユニットに付いているすべての警告と指示をよく読み、理解し、それに従ってください。

溶接リードまたはケーブルを接続する場合は、必ず溶接電源ユニットを作業台操作でオフにした状態で行ってください。

必ず溶接ケーブルが正しく接続され、溶接機が適切に接地されている状態で操作してください。

定格作業台最大積載荷重量には溶接機の重量が含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。溶接機の電源の重量は 75 lbs/34 kg です。

溶接機の操作は、OSHA 規則 1926.352(d) に従って、必ず消火器が直ちに使用できるような状態で行ってください。

作業場の安全

使用後のロックアウト

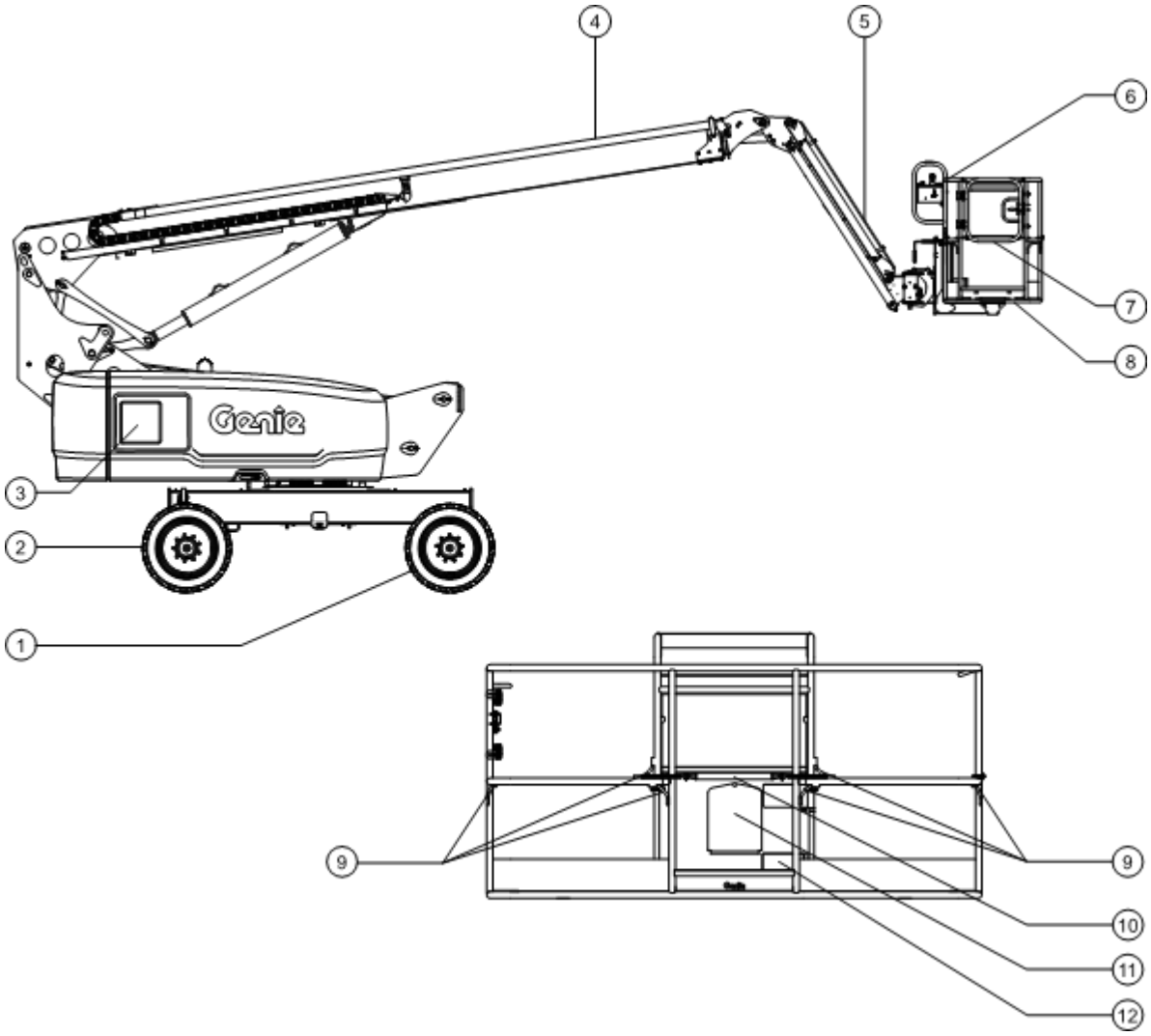
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非操舵輪、または非操舵トラックの間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

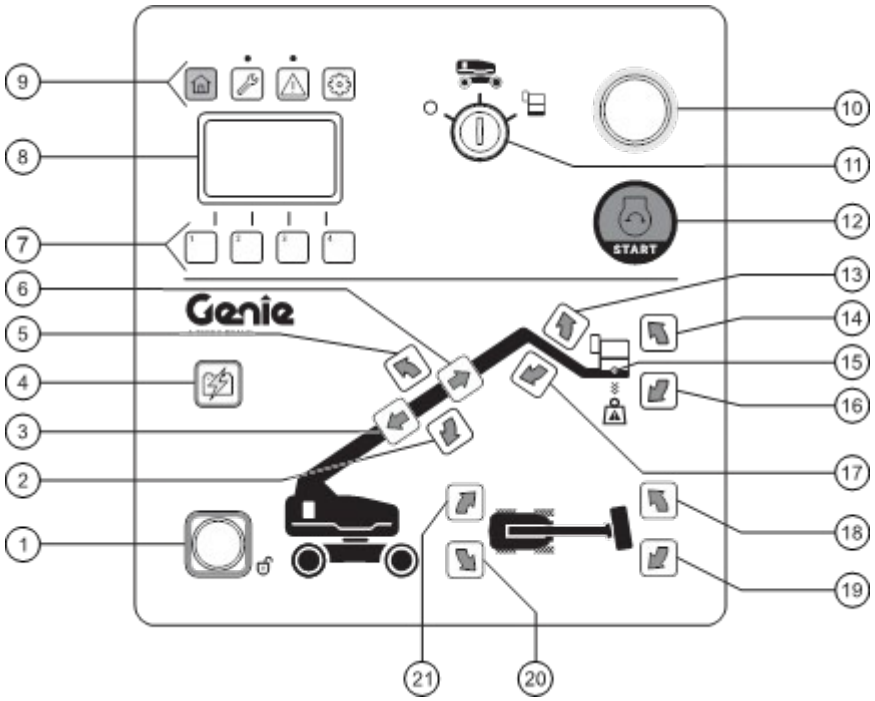
説明



1 非操舵側タイヤ
2 操舵輪
3 地上操作パネル
4 ブーム
5 ジブブーム
6 作業台操作パネル
7 旋回口
8 作業台
9 安全帯固定場所
10 スライド式中間レール
11 マニュアル保管場所
12 ペダルスイッチ

操作パネル

地上操作ステーションは、保管する際の作業台上昇手段、および機能テストのために使用します。地上操作ステーションは、非常事態の際に、作業台に閉じ込められた作業員を救出するために使用することができます。作業台操作ステーションが選択されている場合、非常停止スイッチを含めた作業台操作は不可能になります。



地上操作パネル

操作パネル

地上操作パネル

1 機能作動スイッチ

機能作動ボタンを押したままにすると、地上操作パネルの機能を操作できます。

2 ブーム下降ボタン

ブーム下降ボタンを押すと、ブームが下降します。

3 ブーム収縮ボタン

ブーム収縮ボタンを押すと、ブームが収縮します。

4 補助動力ボタン

主電源（エンジン）が始動しない場合に、補助電源を使用します。
補助電源スイッチを片方に押し続けながら、同時に必要な機能を作動させます。

5 ブーム上昇ボタン

ブーム上昇ボタンを押すと、ブームが上昇します。

6 ブーム延長ボタン

ブーム延長ボタンを押すと、ブームが延長します。

7 LCD 計測値表示画面ナビゲーションボタン

8 LCD 出力画面

画面には、時間計、電圧、油圧および冷却水温度が表示されます。また、故障コードとその他の点検情報も表示されます。

9 LCD 画面メニューボタン

LCD 画面メニューボタンを使用して、別のメニューに移動します。



ホームボタンはモデル、時間計を表示し、エンジン計器にアクセスします。



保守ボタンは保守間隔画面を表示します。サービス間隔が経過するとランプが点灯します。



故障ボタンは故障があることを表示し、故障ログにアクセスできます。故障しているとランプが点灯します。



設定ボタンはサービス担当者が設定画面にアクセスできるようにします。

10 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、機械を操作します。

操作パネル

11 オフ/地上/作業台選択用キースイッチ

キースイッチをオフの位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置に回すと、地上操作が作動します。キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。

12 エンジン始動ボタン

エンジン開始ボタンを押して、エンジンを開始します。

13 ジブブーム上昇ボタン

ジブブーム上昇ボタンを押すと、ジブブームが上昇します。

14 作業台水平上昇ボタン

作業台水平上昇ボタンを押すと、作業台が上昇します。

15 作業台過負荷表示ランプ

作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。エンジンが停止すると、すべての機能は作動しません。

注記:過負荷状態になると、作業台でアラームが鳴ります。その際、作業台の重量が減らされると、アラームは停止します。

16 作業台水平下降ボタン

作業台水平下降ボタンを押すと、作業台が下降します。

17 ジブブーム下降ボタン

ジブブーム下降ボタンを押すと、ジブブームが下降します。

18 作業台右旋回ボタン

作業台右旋回ボタンを押すと、作業台が右に旋回します。

19 作業台左旋回ボタン

作業台左回転ボタンを押すと、作業台が左に旋回します。

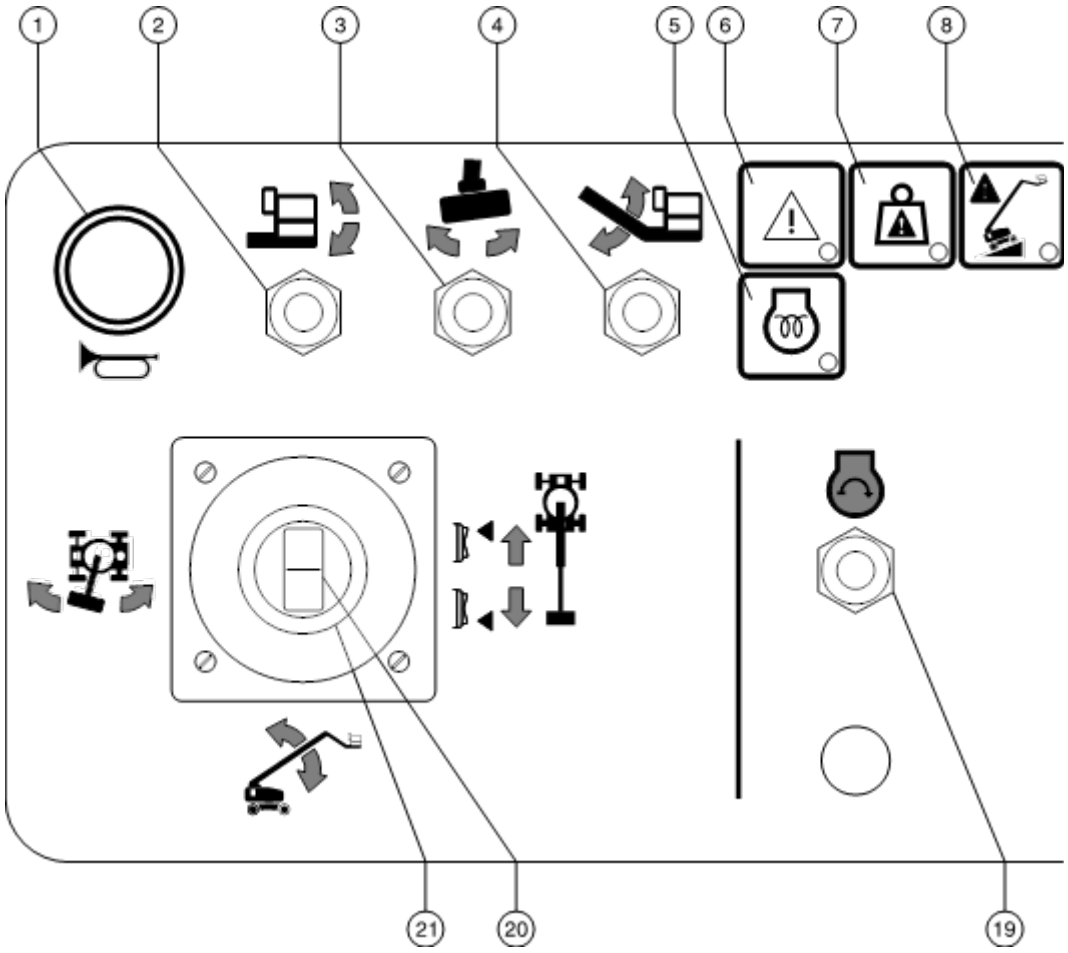
20 ターンテーブル旋回右ボタン

ターンテーブル旋回右ボタンを押すと、ターンテーブルが右に回転します。

21 ターンテーブル旋回左ボタン

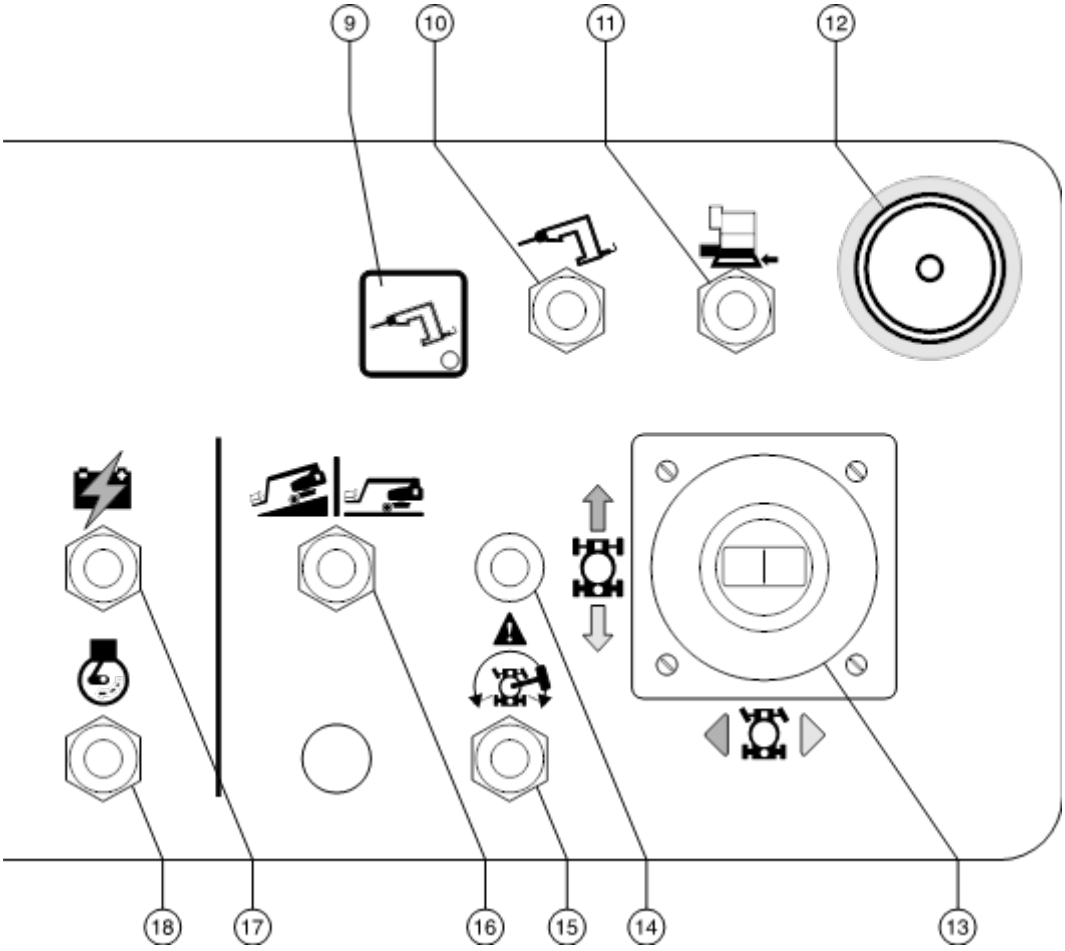
ターンテーブル旋回左ボタンを押すと、ターンテーブルが左に回転します。

操作パネル



作業台操作パネル

操作パネル



操作パネル

作業台操作パネル

1 ホーンボタン

このボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ボタンを離すと、ホーンが止まります。

2 作業台水平スイッチ



作業台水平スイッチを上に動かすと、作業台が上昇します。作業台水平スイッチを下に動かすと、作業台が下に移動します。

3 作業台回転スイッチ



作業台回転スイッチを左に動かすと、作業台が左に回転します。
作業台回転スイッチを右に動かすと、作業台が右に回転します。

4 ジブブーム上昇/下降スイッチ



ジブブームスイッチを上に動かすと、ジブブームが上昇します。ジブブームスイッチを下に動かすと、ジブブームが下降します。

5 グロープラグ表示ランプ

グロープラグが作動しているとランプが点灯します。

6 障害表示ランプ

システムが故障した場合にランプが点灯します。

7 作業台過負荷表示ランプ

作業台に負荷がかかりすぎている場合に、このランプが点滅します。エンジンが停止すると、すべての機能は作動しません。ランプが消えるまで、重量を減らしてください。その後エンジンを再始動します。

8 傾斜表示ランプのついている機械

傾斜センサー動作設定の範囲を超えていると、ランプが点灯します。「操作手順」のセクションをご覧ください。

9 動力表示ランプ

発電機が起動しているとランプが点灯します。

10 発電機スイッチ（搭載されている場合）

発電機を作動させるには、発電機ボタンを上に動かします。発電機を停止するにはスイッチを下に動かします。

11 航空機保護優先スイッチ(搭載されている場合)

作業台のバンパーが何らかの物体に接触した場合に、機械を操作するために航空機保護優先スイッチを動かしてそのままにします。

12 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、機械を操作します。

操作パネル

13 走行および操舵機能用ダブル車軸比例コントロール ハンドル
もしくは 走行機能用比例コントロール ハンドルおよび操舵機能用ロッカースイッチ。

操作パネルの青色矢印の方向にコントロール ハンドルを動かすと、機械が前方に走行します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。コントロール ハンドルを青色三角の方向へ動かすと、機械が左側に曲がります。コントロール ハンドルを、黄色の三角形の方向に動かすと、機械が右に曲がります。
もしくは
コントロール ハンドルを操作パネルの青色の矢印の方向に動かすと、機械が前方に走行します。コントロール ハンドルを黄色の矢印の方向へ動かすと、機械が後方に走行します。ロッカースイッチの左側を押すと、機械が左に曲がります。ロッカースイッチの右側を押すと、機械が右に曲がります。

14 走行機能表示ランプ

ブームが非操舵輪を越えて移動し、走行機能が妨げられると、ランプが点滅します。

15 走行機能スイッチ

走行機能ランプが点滅しているときに走行するには、走行機能スイッチをいずれかの側に押したまま、走行コントロールハンドルを中央からゆっくり動かします。走行コントロールハンドルおよび操舵コントロールハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

16 走行速度選択スイッチ

機械が傾斜面上にあるシンボル：傾斜用の狭範囲操作。
機械が水平面上にあるシンボル：最大走行速度用の広範囲運転。

17 補助電源スイッチ

主電源が停止した場合に、補助電源を使用してください。

補助電源スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動させます。

18 エンジン RPM 選択スイッチ

エンジン RPM 選択スイッチをカメの位置に動かすと、低速アイドリングが開始します。エンジン RPM 速度選択スイッチをウサギの位置に動かすと、高速アイドリングが開始します。

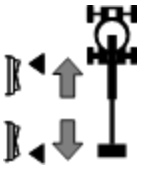
19 エンジン始動スイッチ

エンジン始動スイッチをいずれかの側に動かすと、エンジンが始動します。

操作パネル

20 ブーム伸長/収縮機能用ロッカースイッチ

ロッカースイッチの上部を押すと、ブームが収納します。ロッカースイッチの底部を押すと、ブームが伸長します。



21 ブーム上昇/下降およびターンテーブル左右旋回機能用、ダブル車軸比例コントロール ハンドル

コントロールハンドルを上に動かすと、ブームが上昇します。コントロールハンドルを下に動かすと、ブームが下降します。



コントロールハンドルを右に動かすと、ターンテーブルが右に旋回します。コントロールハンドルを左に動かすと、ターンテーブルが左に旋回します。



点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定メンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定メンテナンスが必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定メンテナンス項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷もしくは工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者がメーカーの製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ 操作説明書、安全マニュアル、責任に関するマニュアルおよび必要となるあらゆる付属書が完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジン冷却液の漏れがないか、冷却液の量が適当かどうかをチェックしてください。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、 シリンダー、マニフォールド
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ 走行とターンテーブル用のモーター、および走行ハブ
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ リミットスイッチと警報
- ❑ 接触アラーム
- ❑ 主ブーム角度センサー
- ❑ ターンテーブルレベルセンサー
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ 作業台出入口中間レールおよびゲート
- ❑ 作業台のロードセル
- ❑ 安全帯固定場所

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 点検が終了後、コンパートメントのすべてのカバーがすべてしっかりと閉められ、ラッチで留められていることを確認します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

地上操作の場合

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

⊙ 結果:地上操作でアラームが鳴ります。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

⊙ 結果:ビーコンが点滅します (搭載されている場合)。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにしてエンジンを再始動します。

機械機能のテスト

7 機能作動ボタンを押さないでください。各ブームおよび作業台の機能ボタンが作動するか試行します。



⊙ 結果:ブームおよび作業台の機能は何も作動しません。

8 機能作動ボタンを押したままにし、各ブームおよび作業台の機能ボタンを作動します。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。ブームが下降しているときには下降アラームが鳴ります。

傾斜センサーのテスト

9 LCD 画面上部の保守ボタンを押します。実時間データ画面に移動します。



⊙ 結果:LCD 画面にシャーシの角度およびブームの角度が表示されます。

点検

補助電源のテスト

10 キースイッチを回して地上操作にし、エンジンを停止します。

11 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

12 補助動力ボタンを押したままにしながら、同時に各ブーム機能ボタンを作動させます。



注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブーム機能が作動します。

13 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作

傾斜センサーアラームのテスト

14 作業台に入り、赤色非常停止ボタンを引き出します。

⊙ 結果:作業台操作でアラームが鳴ります。

非常停止のテスト

15 エンジンを始動させます。

16 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

17 赤色非常停止ボタンを引いてエンジンを再始動します。

警報のテスト

18 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:ホーンが鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

19 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

20 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。エンジンは始動しないでください。

21 ペダルスイッチを踏み、始動トグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンが始動するか試します。

⊙ 結果:エンジンは始動しません。

22 ペダルスイッチを踏まずにエンジンを再始動します。

⊙ 結果:エンジンは始動します。

23 ペダルスイッチを踏まずに各機械機能をテストします。

⊙ 結果:機能は何も作動しません。

点検

機械機能のテスト

24 ペダルスイッチを踏みます。

25 機械機能コントロール ハンドルまたはトグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果:ブームと作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

ステアリングのテスト

26 ペダルスイッチを踏みます。

27 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青色の三角が示す方向に押します。あるいは、コントロールハンドルをゆっくりと青色の三角が示す方向に動かします。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

28 ロッカースイッチを操作パネルの黄色い三角が示す方向に押します。あるいは、コントロールハンドルを、黄色い三角が示す方向にゆっくりと動かします。

⊙ 結果:操舵輪が走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

29 ペダルスイッチを踏みます。

30 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの青色矢印の方向に動き、急停車します。

31 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が走行シャーシの黄色矢印の方向に動き、急停車します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

振動軸のテスト

32 作業台操作でエンジンを始動します。

33 右の操舵側タイヤを 6 in/15 cm のブロックまたは留めぐつわの上に置きます。

⊙ 結果:他の 3 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

34 左の操舵側タイヤを 6 in/15 cm のブロックまたは留めぐつわの上に置きます。

⊙ 結果:他の 3 つのタイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

35 2 つの非操舵側タイヤを 6 in/15 cm のブロックまたは留めぐつわの上で運転します。

⊙ 結果:非操舵側タイヤが地面としっかり接触していなければいけません。

点検

走行機能システムのテスト

36 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

37 ブームが非操舵輪の 1 つを越えるまで、ターンテーブルを旋回します。

⊙ 結果:ブームが示された範囲にある間、走行機能表示ランプが点滅します。



38 走行コントロール ハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果:走行機能は作動しません。

39 走行機能トグルスイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果:走行機能表示ランプが点灯し、走行機能が作動します。

注記:走行機能システムを使用の際、走行および操舵コントロール ハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動く場合があります。

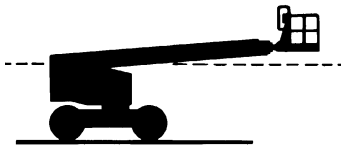
作業台操作および走行シャーシの色分けされた矢印で進む方向を確認してください。



走行制限速度のテスト

40 ペダルスイッチを踏みます。

41 ブームを水平位置から約 5°まで上昇させます。



42 コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:ブームを伸長した状態での最大走行速度は、秒速 1 ft / 30 cm を超えてはいけません。

43 ブームを下ろし収納します。

44 ブームを 18 in/46 cm 伸長します。

45 コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:ブームを伸長した状態での最大走行速度は、秒速 1 ft / 30 cm を超えてはいけません。

ブームを上げた状態あるいはブームを伸長した状態で走行速度が秒速 1 ft / 30 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

点検

走行傾斜カットアウトのテスト

46 ペダルスイッチを踏みます。

47 ブームを完全に収納した状態で、機械のピッチ角度が 5° 以上（前方から後方）になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果：機械は走行を続けます。

48 機械を水平な地面に戻し、ブームを約 18 インチ/46 cm 伸長します。

49 ピッチ角度が 5° 以上（前方から後方）になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果：機械のシャーシ傾斜が 5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

50 ブームを収納位置まで収縮します。

⊙ 結果：機械は走行します。

51 水平な地面に戻し、ブームを水平位置から約 5° 上昇します。

52 ピッチ角度が 5° 以上（前方から後方）になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果：機械のシャーシ傾斜が 5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

53 ブームを下ろし収納します。

⊙ 結果：機械は走行します。

54 水平な地面に戻し、ブームを収納します。

55 ペダルスイッチを踏みます。

56 ブームを完全に収納した状態で、機械のロール角度が 5° 以上（側面から側面）になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果：機械は走行を続けます。

57 機械を水平な地面に戻し、ブームを約 18 インチ/46 cm 伸長します。

58 ロール角度が 5° 以上（側面から側面）になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果：機械のシャーシ傾斜が 5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

59 ブームを収納位置まで収縮します。

⊙ 結果：機械は走行します。

60 水平な地面に戻し、ブームを水平位置から約 5° 上昇します。

61 ロール角度が 5° 以上（側面から側面）になる傾斜面で機械を走行します。

⊙ 結果：機械のシャーシ傾斜が 5°になると、機械は停止し、作業台操作パネルでアラームが鳴ります。

62 ブームを下ろし収納します。

⊙ 結果：機械は走行します。

63 水平な地面に戻し、ブームを収納します。

点検

接触アラームのテスト（搭載されている場合）

64 ペダルスイッチを作動させ、接触アラームケーブルを押すことで、スイッチソケットからアクチュエータを解除しないでください。

⊙ 結果：接触アラームランプが点滅せず、機械のホーンが鳴りません。

65 ペダルスイッチを踏んで、作動させてください。

⊙ 結果：接触アラームランプが点滅し、機械のホーンが鳴ります。

66 アクチュエータをスイッチソケットに挿入します。

⊙ 結果：ランプが消え、ホーンが止まります。

67 ペダルスイッチを踏んで作動させ、接触アラームケーブルを押して、スイッチソケットからアクチュエータを解除してください。

⊙ 結果：接触アラームランプが点滅し、機械のホーンが鳴ります。

68 機械の各機能を作動してください。

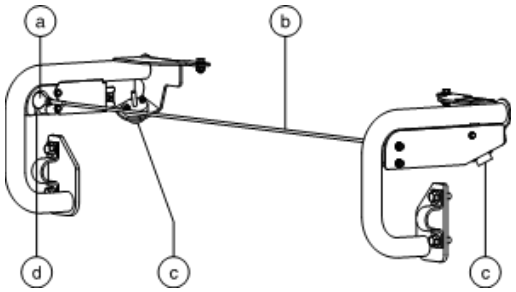
⊙ 結果：すべての機能は作動しません。

69 アクチュエータをスイッチソケットに挿入します。

⊙ 結果：ランプが消え、ホーンが止まります。

70 機械の各機能を作動してください。

⊙ 結果：すべての機能が作動します。



a アクチュエータ
b 接触アラームケーブル
c 点滅アラーム
d スイッチソケット

点検

補助電源のテスト

71 エンジンを停止します。

72 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

73 ペダルスイッチを踏みます。

74 補助電力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチの作動を試します。

注記:バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果:すべてのブームおよび操舵機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

航空機保護パッケージのテスト (搭載されている場合)

注記: このテストの実施には 2 名で行う必要がある場合があります。

75 作業台底部の黄色いバンパーをいずれかの方向に 4 インチ/10 cm 動かします。

76 各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:ブームおよび操舵機能は作動しません。

77 機能優先スイッチを動かしてそのままにします。

78 各機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果:すべてのブームおよび操舵機能が作動します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

警告用語付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

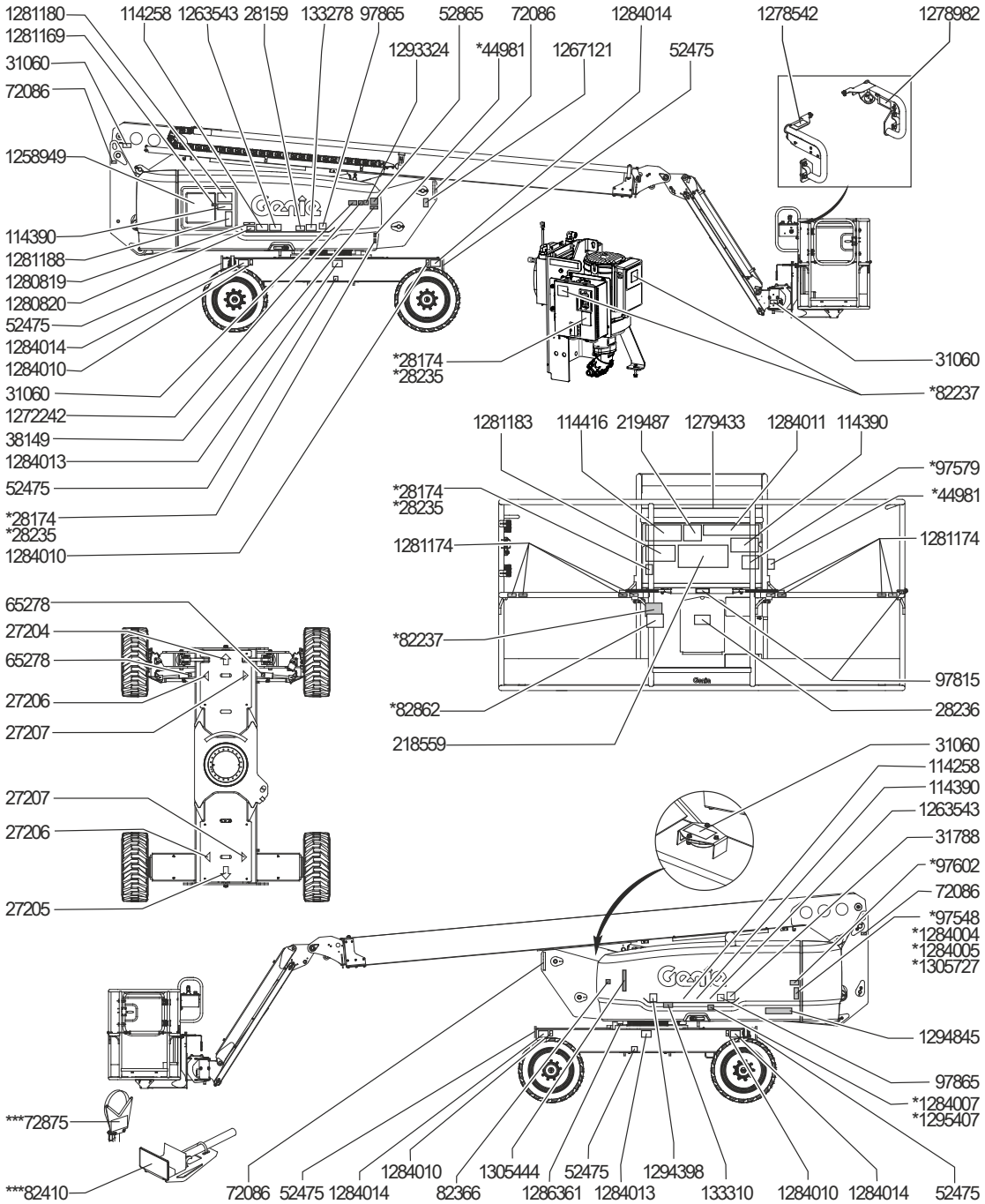
品番	ステッカーの説明	数量
27204	矢印 ー 青色	1
27205	矢印 ー 黄色	1
27206	三角 ー 青色	2
27207	三角 ー 黄色	2
28159	ラベル ー ディーゼル	1
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V	3
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V	3
28236	警告 ー 不適切な操作	1
31060	危険 ー 転倒の危険、リミット スイッチ	4
31788	危険 ー 爆発/やけどの危険	1
38149	ラベル ー 特許品（米国のみ）	1
44981	ラベル ー 作業台への空気管 (オプション)	2
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	6
52865	警告 ー 1 年毎の点検記録	1
65278	要注意 ー 踏まない	2
72086	ラベル ー 吊り上げ点	4
72875	警告 ー パイプクレードル (オプション)	2
82237	危険 ー 感電の危険（オプション）	2
82366	ラベル ー Chevron Rando	1
82410	警告 ー パネルクレードル (オプション)	2
82862	危険 ー 消火器、溶接機 (オプション)	1
97548	指示 – Deutz エンジン仕様 (F3L 2011 & D2011 L03i)	1
97579	危険 ー 転倒、溶接機 (オプション)	1
97602	警告 ー 爆発の危険	1
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	2
97865	警告 ー 感電の危険	2
114258	危険 ー 爆発の危険	2
114390	危険 ー 感電の危険	3
114416	危険 ー 転倒の危険、傾斜アラーム	1
133278	ラベル ー 低硫黄燃料	1
133310	ラベル ー エンジン始動 & 制御用バッテリー	1
218559	危険、警告 ー 転倒、挟まる危険	1
219487	ラベル – 作業台過負荷	1
826345	ラベル ー 超低硫黄燃料のみ（ディーゼルモデル）	1
1258949	地上操作パネル	1
1263543	警告 ー コンパートメントへのアクセス	2
1267121	警告 ー 手のケガの危険、点検	2
1272242	ラベル ー 機械の登録/所有権の譲渡	1
1278542	ラベル – 接触アラーム重量	1
1278982	ラベル – アクチュエータスイッチソケット	1
1279433	作業台操作パネル	1
1280819	ラベル ー 警告、がんと生殖害、Prop 65	1
1280820	ラベル ー 燃料、ディーゼル排気、Prop 65	1
1281169	ラベル ー 復元スイッチ	1
1281174	ラベル – 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止	8
1281180	指示 – 操作指示	1
1281183	警告 – 機械の暴走する危険	1
1281188	ラベル ー 緊急下降	1
1284004	指示 ー クボタエンジン仕様 、D1105-E4B	1
1284005	指示 ー クボタエンジン仕様 、D1803-CR-TIE4	1
1284007	ラベル ー リレーヒューズパネル、クボタ 48 HP	1
1284010	ラベル ー 輪荷重、S-60 J	4
1284011	ラベル ー 危険 – 転倒の危険	1
1284013	ラベル – 輸送およびリフト	2
1284014	危険 ー 転倒の危険、フォームタイヤ	4
1286361	ラベル ー S-60 J スウィングロック	1
1293324	ラベル – ICES-2/CAN-2 規制	1
1294398	ラベル ー ANSI/CSA 準拠	1
1294845	ラベル ー エンジンキャッチトレー	1
1295407	ラベル ー リレーヒューズパネル	1
1305444	ラベル – 油圧充填量タンク	1
1305727	手順 — クボタエンジン仕様（D1803-CR）	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検

*** これらのステッカーはシャーシの両側面に付いてお ます。
り、モデル、オプションまたは構成の仕様を示し



点検

シンボル付きステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

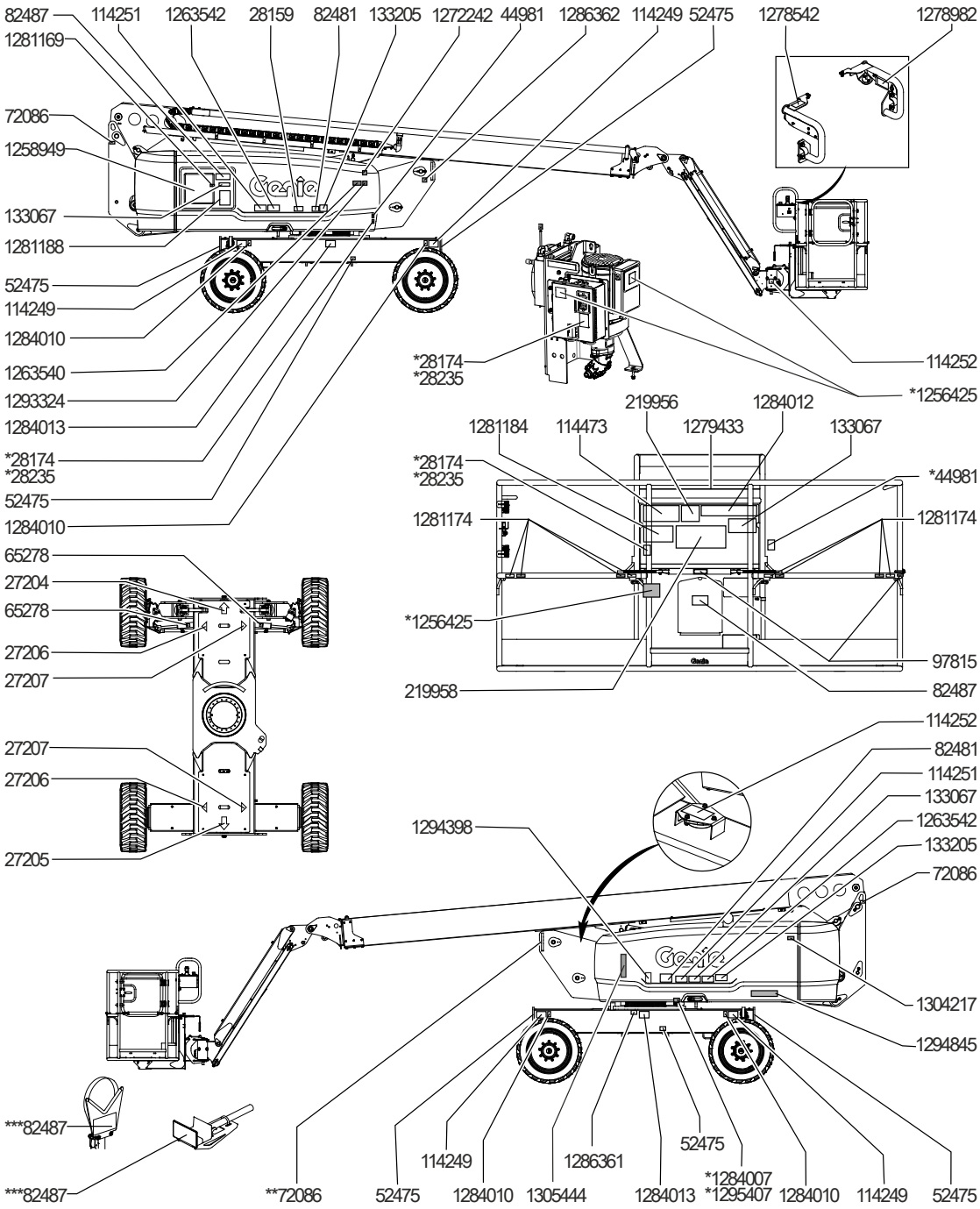
品番	ステッカーの説明	数量
27204	矢印 ー 青色	1
27205	矢印 ー 黄色	1
27206	三角 ー 青色	2
27207	三角 ー 黄色	2
28159	ラベル ー ディーゼル	1
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V	3
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V	3
44981	ラベル ー 作業台への空気管 (オプション)	2
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	4
65278	要注意 ー 踏まない	2
72086	ラベル ー 吊り上げ点	4
82240	ラベル ー 105 dB	1
82481	ラベル ー バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル ー マニュアルを読む	2
82487	ラベル ー マニュアルを読む（パネルクレードル）	2
82487	ラベル ー マニュアルを読む (パイプクレードル)	2
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
114249	ラベル ー 転倒の危険、タイヤ	4
114251	ラベル ー 爆発の危険	2
114473	ラベル ー 傾斜アラーム	1
133067	ラベル ー 感電の危険	3
133205	ラベル ー 感電/やけどの危険	1
219956	ラベル – 作業台過負荷	1
219958	ラベル ー 転倒、挟まる危険	1
1256425	ラベル ー 危険、感電の危険	3
1258949	地上操作パネル	1
1263540	ラベル ー 転倒の危険	1
1263542	ラベル ー コンパートメントへのアクセス	2
1272242	ラベル ー 機械の登録/所有権の譲渡	1
1278542	ラベル – 接触アラーム重量	1
1278982	ラベル – アクチュエータスイッチソケット	1
1279433	作業台操作パネル	1
1281169	ラベル – 復元スイッチ	1
1281174	ラベル – 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止	8
1281184	警告 – 機械の暴走する危険	1
1281188	ラベル ー 緊急下降	1
1284007	ラベル ー リレーヒューズパネル、クボタ 48 HP	1
1284010	ラベル ー 輪荷重、S-60 J	4
1284012	ラベル ー 危険 – 転倒の危険	1
1284013	ラベル – 輸送およびリフト	2
1286361	ラベル ー S-60 J スウィングロック	1
1286362	ラベル – 挟まる危険、点検	2
1293324	ラベル – ICES-2/CAN-2 規制	1
1294398	ラベル ー ANSI/CSA 準拠	1
1294845	ラベル ー エンジンキャッチトレー	1
1295407	ラベル ー リレーヒューズパネル	1
1301030	ラベル ー ディーゼル、ステージ V	1
1304217	警告 ー 爆発の危険	1
1305444	ラベル – 油圧充填量タンク	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

*** これらのステッカーはシャーシの両側面に付いており、モデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


82487
114251
1263542
28159
82481
133205
1272242
44981
1286362
114249
52475
1278542
1278982
1281169
72086
1258949
133067
1281188
52475
114249
1284010
1263540
1293324
1284013
*28174
*28235
52475
1284010
65278
27204
65278
27206
27207
27207
27206
27205
***82487
***82487
*28174
*28235
114252
*1256425
219956
1284012
1281184
114473
1279433
133067
*28174
*28235
*44981
1281174
1281174
*1256425
97815
219958
82487
114252
82481
114251
133067
1263542
133205
72086
1294398
1304217
1294845
114249
1286361
52475
*1284007
*1295407
**72086
52475
1284010
1305444
1284013
1284010
114249
52475

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

操作手順

エンジンの始動

ディーゼルモデル

1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

機械に電源が入ると、エンジングロープラグが自動的に開始します。

3 地上操作の場合：自動グロープラグが作動しているときに、LCD 画面にはグロープラグシンボルが表示されます。



4 作業台操作の場合：自動グロープラグが作動しているとき、グロープラグ表示ランプが点灯します。

5 グロープラグがオフになったときに、エンジンを開始してください。エンジン開始トグルスイッチを動かしたままにするか、エンジン開始ボタンを押したままにします。

6 エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、地上操作が優先されるため、作業台の赤色非常停止ボタンは使用できません。

補助電源

主動力源（エンジン）が停止した場合、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

3 作業台から操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。

4 補助電源スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動させます。



走行機能は、補助電源では作動しません。

操作手順

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

機械に電源が入ると、エンジングロープラグが自動的に開始します。

3 グロープラグがオフになったときに、エンジンを開始してください。

作業台を配置する

1 機能作動ボタンを押したままにします。



2 操作パネルのマークに従って、適切な機能ボタンを押します。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

作業台過負荷表示ランプ

作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。エンジンが停止すると、すべての機能は作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。それからエンジンを再始動します。

注記：過負荷状態になると、作業台でアラームが鳴ります。その際、作業台の重量が減らされると、アラームは停止します。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

機械に電源が入ると、エンジングロープラグが自動的に開始します。

3 グロープラグがオフになったときに、エンジンを開始してください。エンジンを始動するときは、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 操作パネルのマークに従って、適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かすか、適切なボタンを押します。

操舵

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 走行コントロールハンドルを青色もしくは黄色の三角が示す方向にゆっくり動かします。
もしくは、走行コントロー ハンドルの先端にあるロッカースイッチを押します。

作業台操作および走行シャーシにある色別された矢印マークを見ながら、ホイールの曲がる方向を確認してください。

操作手順

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

機械の走行速度はブームが上昇しているときは制限されます。

⚠ 傾斜面における走行

機械に対する上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。



最大定格勾配、下り傾斜に作業台がある場合 (登坂能力):
4WD:45% (24°)



最大定格勾配、上り斜面に作業台がある場合:
4WD:30% (17°)



最大定格横勾配:
25% (14°)

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。登坂能力という用語は、カウンターウェイトが上り坂にある構成の場合にのみ適用されます。

ブームが水平より低く、作業台が非操舵輪の間にあることを確認します。

走行速度選択スイッチを機械が傾斜面上にあることを示すシンボルの方向に動かします。

操作手順

傾斜勾配の確認:

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 3 ft/1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

谷側の端で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:



木片の長さが 144 in (3.6 m) なら、

水平距離 = 144 in (3.6 m)

高さ = 12 in (0.3 m)

12 in ÷ 144 in = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配
0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上り/下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜面の上または下に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

走行機能

ブームが非操舵輪を越えて移動し、走行機能が妨げられると、ランプが点滅します。



走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

走行コントロール ハンドルおよび操舵コントロールハンドルの方向とは反対の方向に機械が動く場合があるので、注意してください。

必ず作業台操作と走行シャーシの色分け矢印で、機械の進む方向を確認してください。

走行速度選択



- 機械が傾斜面上にあるシンボル:傾斜面または不整地での狭範囲操作
- 機械が水平面上にあるシンボル:最大走行速度用の広範囲運転。

操作手順

エンジン回転速度選択

操作パネル上のシンボルで、エンジン RPM を選択してください。

ペダルスイッチを踏んでいない場合、エンジンは低 rpm でアイドリングします。

- カメのシンボル:ペダルスイッチによる低速開始
- ウサギのシンボル:ペダルスイッチによる高速開始



注記:ウサギマークを選択すると、作業台機能に対して高速回転は作動しません。

発電機(搭載されている場合)

発電機を作動するには、発電機トグルスイッチをON(オン)の位置に動かします。

注記:発電機表示ランプが点灯します。

発電機が始動し、エンジンが高回転モードで作動を続けます。

電源ツールを作業台またはターンテーブルにあるAC 電源コンセントに差し込みます。

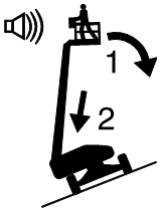
発電機を停止するには、発電機トグルスイッチをオフの位置に動かします。

注記:発電機表示ランプが消灯し、回転速度は通常に戻ります。

非水平表示ランプ (搭載されている場合)



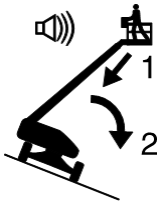
傾斜表示ランプが点灯する場合:機械が傾斜センサー動作設定の範囲を超えていると、ランプが点灯し、傾斜アラームが鳴ります。下記の適切な手順に従い、機械を安定した水平な場所に移動します。



作業台が上り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを下げます。

2 ブームを収縮します。



作業台が下り傾斜にあるときに傾斜アラームが鳴った場合には、以下の操作を行います。

1 ブームを収縮します。

2 ブームを下げます。

作業台過負荷表示ランプ



作業台に負荷がかかりすぎている場合にランプが点滅します。エンジンが停止すると、すべての機能は作動しません。

ランプが消えるまで、作業台にかかっている重量を減らしてください。それからエンジンを再始動します。

操作手順

機械故障インジケーターランプ



システムが故障した場合にランプが点灯します。

1 赤色の非常停止ボタンを押してから、引き出してください。

2 ブームを下げて収納します。

3 故障の貼り紙をつけて作業を中止してください。機能は作動しません。

傾斜センサー動作設定

モデル	シャーシ角度
S-60 J	5°



傾斜表示ランプが点灯し、傾斜アラームが鳴る場合、次の機能が影響を受けます。走行機能が無効になります。

ブーム下降手順（操作指示を参照）に従って、走行機能を復元してください。



傾斜面で機械を収納し、傾斜アラームが鳴る場合、次の機能が影響を受けます。リフト機能が無効になります。

リフト機能を復元するには、平らな地面に機械を移動してください。

LCD 画面

地上操作パネルの LCD 画面には、時間計、電圧、油圧および冷却水温度が表示されます。また、故障コードとその他の点検情報も表示されます。

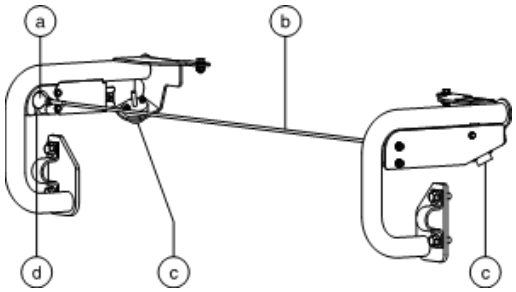
接触アラーム（搭載されている場合）

接触アラームはアラームと点滅した警告ランプで、オペレータが作業台操作パネルに接触し、ブームの動作を妨害したことを地上作業員に知らせることを目的としています。

接触アラームケーブルが作動すると、作業台でのリフトおよび走行機能は無効になります。音声と視覚を用いた警告は、他の作業員にサポートが必要であることを知らせます。この通知の動作はシステムがリセットされるまで続きます。

1 スイッチソケットからアクチュエータが解除され、接触アラームケーブルが作動します。

2 アクチュエータをスイッチソケットに挿入して、ランプの点灯とアラームを止めます。



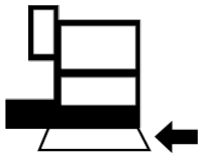
a アクチュエータ
b 接触アラームケーブル
c 点滅アラーム
d スイッチソケット

操作手順

航空機保護パッケージの操作（搭載されている場合）

作業台バンパーが何らかの物体に接触すると、機械がシャットダウンして機能が動作しなくなります。

航空機保護優先スイッチ(作業台操作の場合)



1 航空機保護機能優先スイッチを動かしてそのままにします。

2 適切な機能を動かして、作業台を物体から遠ざけてください。

航空機保護優先スイッチ(地上操作の場合)

1 機能作動ボタンを含むすべての機能を解除します。

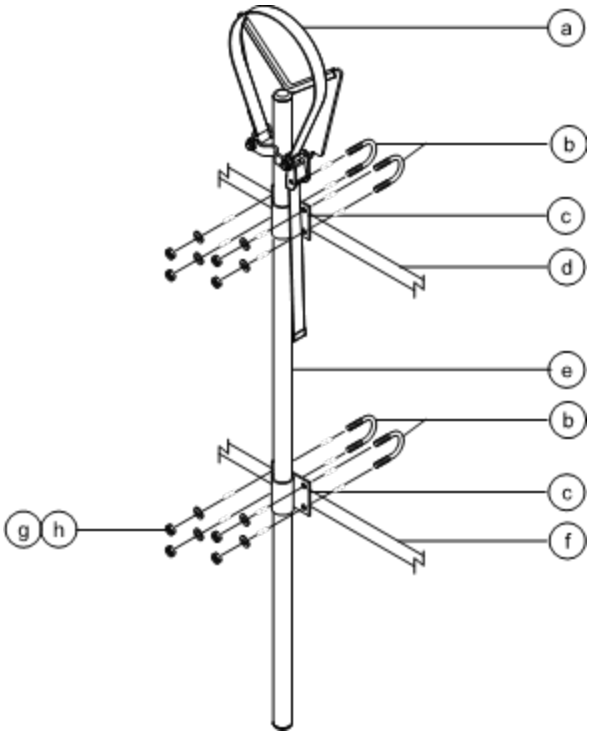


2 機能作動ボタンを押したままにすると、保護が解除されます。

3 適切な機能を動かして、作業台を物体から遠ざけてください。

パイプクレードルの手順

パイプクレードルのアッセンブリは、作業台の両側のガードレールにそれぞれ U ボルトで取り付けられた 2 つのパイプクレードルから構成されます。



a ストラップ
b U ボルト
c パイプクレードル取り付け具
d 上部作業台手摺り
e パイプクレードル溶接部
f 中央部作業台手摺り
g 平ワッシャー
h ナイロック ナット

操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ パイプクレードルを作業台の内側に取り付けてください。

☑ パイプクレードルが、作業台コントロールあるいは作業台の出入口の妨げにならないようにしてください。

☑ パイプクレードルチューブの底が、作業台床に載っている状態にしてください。

☑ パイプクレードルを取り付ける前に、作業台が水平状態であることを確認します。

パイプクレードルの取り付け

1 パイプクレードルを作業台の両側に取り付けます。左の手順を参照してください。パイプクレードルチューブの底が、作業台床に載っている状態にしてください。

2 2 つの U ボルトを、作業台レールの外側からパイプクレードル取り付け具を通して取り付けます。

3 それぞれの U ボルトを 2 個のウォッシャーと 2 個のナットで固定します。

パイプクレードルの使い方

1 パイプクレードルの組み立ておよび取り付け手順に適切に従い、パイプクレードルが作業台の手摺りにしっかりと固定されていることを確認します。

2 積荷を両方のパイプクレードルに載るように置きます。積荷の奥行きが作業台の奥行きと平行になるようにします。

3 積荷をパイプクレードルの中心に置きます。

4 積荷をそれぞれのパイプクレードルに固定します。ナイロンストラップを積荷の上にかけます。バックルを押してストラップを通します。ストラップを締めます。

5 積荷をゆっくり押したり引いたりして、パイプクレードルと積荷が固定されていることを確認します。

6 機械が動いている間、積荷を固定したままにしてください。

⚠ 転倒の危険。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードル内の積荷の重量は、機械の定格作業台積載荷重量に含まれるため、作業台に載せることのできる積荷の合計荷重量は小さくなります。

⚠ 転倒の危険。パイプクレードルのアッセンブリとパイプクレードルの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

パイプクレードルの最大積載重量	
すべてのモデル	200 lbs 90.7 kg
パイプクレードルアッセンブリの重量	21 lbs 9.5 kg

操作手順

パネルクレードルのアッセンブリ

1 各パネルクレードルの前面に、必要に応じて警告ステッカーを貼付してください。

2 パネルクレードルのベース部分にラバーバンパー 1 を取り付けます。図を参照してください。

3 バンパーをハイプロファイル ロックナット 2 つとウォッシャー 2 つで固定します。

パネルクレードルの取り付け

1 フックピースをパネルクレードルのベース部分のスロットに挿入します。

2 パネルクレードルを作業台の底部のチューブの希望する位置に掛けます。

3 ラバーバンパー 2 をパネルクレードル ベースとフックピースに通して取り付けます。図を参照してください。

4 ロープロファイル ロックナット 2 つで固定します。

5 パネルクレードルが作業台床のサポートチューブに取り付けられている場合、U ボルトを床側からチューブを囲むようして、パネルクレードルのベースに挿入します。

6 U ボルトをナット 2 つとウォッシャー 2 つで固定します。手順 9 に進みます。

7 パネルクレードルが作業台床のサポートチューブに取り付けられていない場合、付属のアルミニウムチューブを使用してください。

8 チューブをパネルクレードルと作業台床の間に置きます。U ボルトを床側からチューブを囲むようにしてパネルクレードルのベース部分に挿入します。

9 2 つ目のセットも同じようにして取り付けます。

パッドの取り付け

1 作業台の手摺りにパッド 2 つを取り付けます。パネルが作業台の手摺りに接触しないよう、パッドの位置を決めます。

ストラップの取り付け

1 クランプを開き、作業台手摺りの垂直チューブを囲むように取り付けます。

2 クランプの片側からウォッシャーとボルトを挿入します。

3 ストラップアッセンブリのエンドプレートをボルトに取り付けます。

4 クランプのもう一方の側からボルトを挿入します。

5 ウォッシャーとナットで固定します。締めすぎないよう注意してください。ストラップアッセンブリのエンドプレートが作業台手摺りでスライドできるようにしてください。

パネルクレードルの使い方

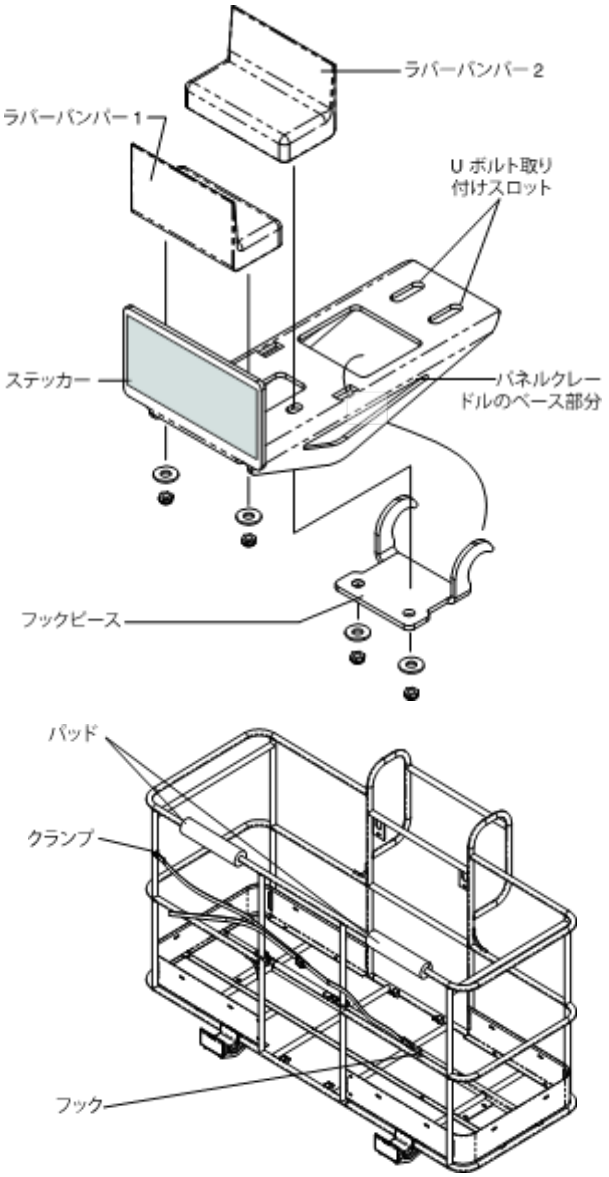
1 両方のパネルクレードルを作業台に固定します。

2 積荷を両方のパネルクレードルに載るように置きます。

3 積荷を作業台の中心に置きます。

4 ストラップを使って積荷を作業台に固定します。ストラップを締めます。

操作手順



使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非操舵ホイールの間にくるように、ターンテーブルを回転させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。

☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。

☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた可動式上昇作業台の作業員のみが行ってください。

☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。操作を始める前に、ターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。

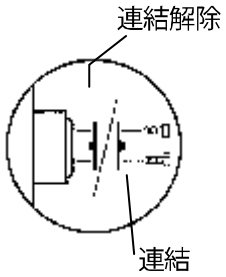
☑ 機械の定格勾配を超える上り傾斜、下り傾斜、および横傾斜では、機械を走行しないでください。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

ウィンチ用のフリーホイール設定

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

4 輪すべての走行ハブ取外しキャップを反転させて、ホイールブレーキを解除します。



シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

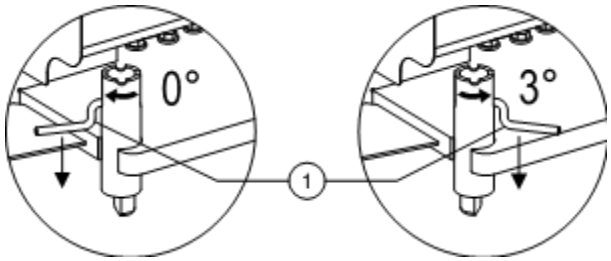
再びブレーキをかけるには逆の手順を行ってください。

注記：ポンプのフリーホイール弁は常に閉じていなければいけません。

輸送および持ち上げの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送するときは、ターンテーブル旋回ロックピンを必ず使用してください。



1　ターンテーブル旋回ロックピン

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

注記：効率よく複数の機械を輸送するには、ターンテーブル回転ロックピンを 3° に設定します。

シャーシの固定

積載荷重量に十分耐えうるチェーンを使用してください。

チェーンを最低 6 本使用してください。

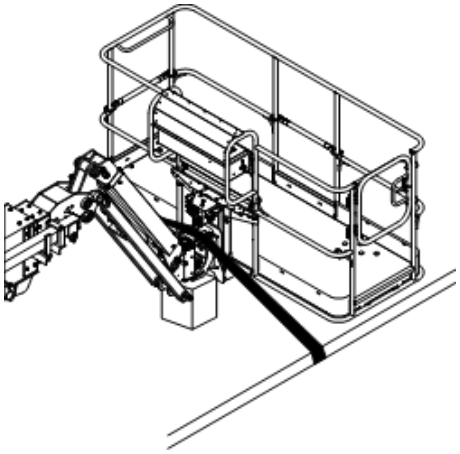
チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。

図を参照する場合は、持ち上げの手順をご覧ください。

作業台の固定 – S-60 J

ジブと作業台が収納された状態であることを確認してください。

ストラップガイドに平行に配置されているナイロンストラップで作業台を固定します。ブーム部分を固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



輸送および持ち上げの手順

必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ては、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ 承認されたクレーン作業員のみが、適切なクレーン規制のみに従い、機械の持ち上げを行わなければなりません。

☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

リフトの手順

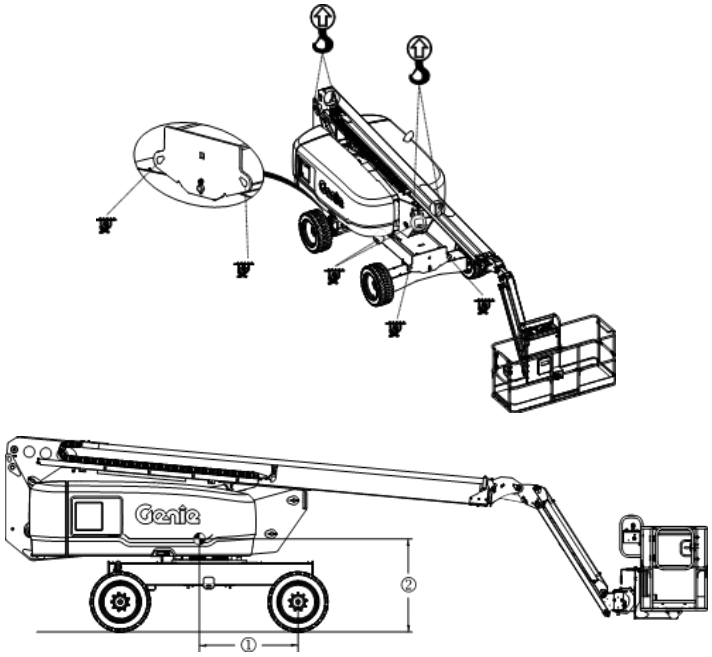
ブームを完全に下げて収縮します。ジブを完全に下げます。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

重心	X 軸	Y 軸
S-60 J	59 in/1.5 m	50 in/1.27 m



1 X 軸

2 Y 軸

メンテナンス

必ず以下に従うこと。

- ☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。
- ☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。
- ☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。


この手順を行うために、工具が必要です。


この手順を行うために、新たな部品が必要です。


この手順を行う場合には、エンジンが冷えた状態になっていなければなりません。

エンジンオイル量の点検



エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。オイル量が不適切な状態で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注記:オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

Deutz D2011 L03i エンジン	
オイルタイプ	15W-40
オイルタイプ ー 低温での状況	5W-30
クボタ D-1105-E4B エンジン	
オイルタイプ	10W-30 もしくは 10W-40
クボタ D-1803-CR-TIE4 エンジン	
オイルタイプ	10W-30 もしくは 10W-40

メンテナンス

ディーゼル燃料要件

エンジンの性能は、使用する燃料の品質によって影響を受けます。高品質の燃料を使用すると、エンジンの寿命が長くなり、排出ガスの放出レベルが許容範囲内になるという利点があります。

各エンジンに対応する最低ディーゼル燃料要件は以下に一覧にしています。

Deutz D2011 L03i エンジン	
燃料タイプ	低硫黄燃料（LSD）
クボタ D-1105-E4B エンジン	
燃料タイプ	低硫黄燃料（LSD） もしくは 超低硫黄燃料（ULSD）
クボタ D-1803-CR-TIE4 エンジン	
燃料タイプ	超低硫黄燃料（ULSD）

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果：作動油の量は表示計の上から 2 インチ /5 cm 以内にしなければいけません。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

メンテナンス

エンジン冷却液量の点検 ー 液冷モデル

エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化で、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

⚠ やけどの危険。熱くなっているエンジン部分と冷却液に注意してください。熱くなっているエンジン部分や冷却液に触れると、重度の火傷を負うことがあります。

⚠ やけどの危険。エンジンの始動中はラジエーターのキャップを外さないでください。加圧された冷却水に触れると、重度の火傷を負うことがあります。ラジエーターのキャップを取り外す前にエンジンを冷却してください。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果：液の量はタンクまたは表示計で full（満タン）を指している必要があります。

バッテリーの点検

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

メンテナンス

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスおよび保守マニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機械の耐用年数を終えた際には、廃棄や廃車に関する地域や政府の規制をすべて遵守してください。詳細については、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

仕様

モデル		S-60 J
高さ、操作時最大	66 ft 10 in	20.4 m
高さ、作業台最大	60 ft 10 in	18.5 m
水平最大到達距離、作業台最大	40 ft 6 in	12.3 m
最大積載荷重	660 lbs	300 kg
最大風速	28 mph	12.5 m/s
作業台回転角度		160°
作業台水平維持		自動水平維持
ターンテーブル回転角度(度)		353° 非連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、(ライザー下降)	5 ft 2 in	1.57 m
ターンテーブルによる後方車体の揺れ、(ライザー上昇)	4 ft 1 in	1.24 m
高さ、収納時最大	8 ft 10 in	2.7 m
長さ、作業台収納時	31 ft 10 in	9.7 m
幅、標準タイヤ	8 ft 2 in	2.49 m
ホイールベース	8 ft	2.4 m
最低地上高、 中央	22 in	56.4 cm
最低地上高、 車軸	12 in	31 cm
旋回半径 (内側)	8 ft 1 in	2.46 m
旋回半径 (外側)	18 ft 5 in	5.61 m
作業台寸法、6 フィート (長さ x 幅)	72 in x 30 in	182 cm x 76 cm
作業台寸法、8 フィート (長さ x 幅)	96 in x 36 in	244 cm x 91 cm
重量	16,680 lbs	7,550 kg

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)

周囲操作温度		-20°F～120°F -29°C～49°C
操作パネル		12V DC 比例
作業台 AC コンセント		標準
システム電圧		12V
油圧、最大(ブーム機能)	3,200 psi	220 バール
タイヤ サイズ	315/55 D20、12 プライ FF	
燃料タンク容量	30 ガロン	113.5 リットル
油圧タンク容量	21 ガロン	79 リットル

最大定格勾配、収納状態、4WD	
作業台が上がり傾斜にある場合	30% (17°)
作業台が下り傾斜にある場合	45% (24°)
横勾配	25% (14°)

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

最大許容シャーシ傾斜	「傾斜センサー動作設定」の項参照

走行速度		
走行速度、収納時	3.0 mph 40 ft/9.1 秒	4.8 km/h 12.2 m/9.1 秒
走行速度、上昇または伸長時	0.68 mph 40 ft/40 秒	1.1 km/h 12.2 m/40 秒

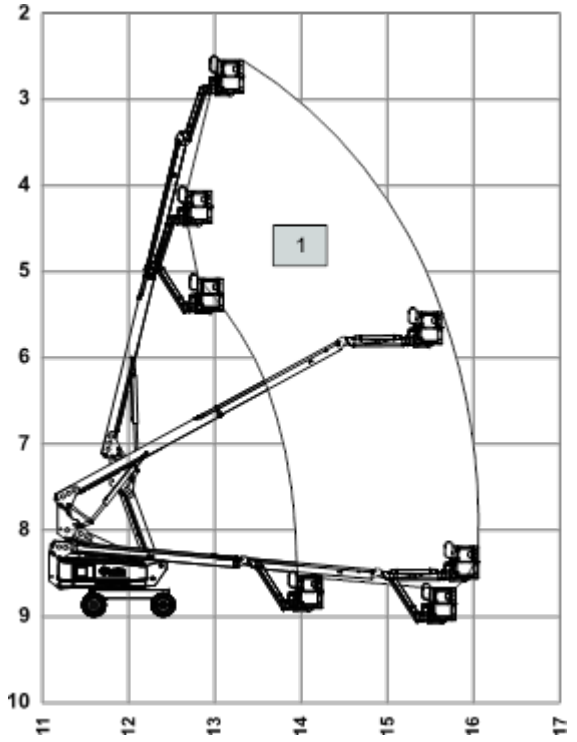
床荷重表		
最大輪荷重	9,630 lbs	4,368 kg
タイヤ接地圧	85 psi	5.96 kg/cm^2 585 kPa
車体占有面の平均圧力	215 psf	1,049 kg/m^2 10.28 kPa

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

可動範囲表 - S-60 J



作業台最大積載荷重量

1	660 lbs	300 kg

垂直値

2	70 ft	21.34 m
3	60 ft	19.29 m
4	50 ft	15.24 m
5	40 ft	12.19 m
6	30 ft	9.14 m
7	20 ft	6.1 m
8	10 ft	3.05 m
9	0 ft	0 m
10	-10 ft	-3.05 m

水平値

11	-10 ft	-3.05 m
12	0 ft	0 m
13	10 ft	3.05 m
14	20 ft	6.1 m
15	30 ft	9.14 m
16	40 ft	12.19 m
17	50 ft	15.24 m

代理店:

www.genielift.com